

成 城 大 学
图 书 馆 年 报

第 16 号
(2014)

2 0 1 4 年 度

圖 書 館 業 務 報 告

目次

はじめに（図書館長）	3
I 概況	4
1 2014年度の図書館業務	4
（1）図書館業務の概況	4
（2）総務課業務	8
（3）整理課業務	10
（4）運用課業務	12
（5）図書選定委員会業務	14
（6）広報委員会業務	15
（7）システム委員会業務	17
（8）スチューデントアシスタントワーキンググループ	18
（9）情報リテラシー教育ワーキンググループ	19
（10）利用者教育検討ワーキンググループ（図書館がイタンスワーキンググループ）	20
（11）配架場所検討チーム	22
2 図書館職員の研修、出張等	23
3 図書館相互利用（五大学・世田谷6大学）	24
（1）五大学図書館懇談会	24
（2）世田谷6大学コンソーシアム図書館相互利用専門委員会	25
（3）四大学図書館相互利用実績	26
（4）世田谷6大学図書館相互利用実績	27
II 2014年度の委員会報告	29
1 図書館委員会報告	29
2 運営会報告	31
III 2014年度の図書館年次統計	38
1 現況	38
（1）利用状況	38
（2）所蔵資料数	38
（3）電子情報資源種類数	39
（4）リポジトリ登録件数	39
（5）雑誌所蔵種類数	39
（6）継続受入雑誌種類数	39
（7）AV・マイクロ累積タイトル数	39
2 受入報告	40
（1）図書受入報告	40
（2）雑誌受入報告	40
（3）AV・マイクロ資料受入報告	41
（4）学習図書年度別受入一覧	42
3 整理業務統計	43
（1）図書整理冊数	43

(2) 修士論文整理冊数	4 3
(3) 博士論文整理冊数	4 3
(4) AV・マイクロ点数	4 3
4 運用業務統計	4 4
(1) 入館者統計	4 4
(2) 月別図書貸出統計	4 5
(3) 分野別図書貸出統計	4 6
(4) ベストリーダー	4 7
(5) 閉架書庫内図書月別利用統計	4 8
(6) 閉架書庫内雑誌月別利用統計	4 8
(7) 貸倉庫預入資料利用統計	4 9
(8) 貸倉庫資料利用請求冊数内訳	4 9
(9) 研究室別貸出図書統計	5 0
(10) 研究室別貸出雑誌統計	5 1
(11) 施設利用統計	5 2
(12) 貴重書室利用統計	5 2
(13) 3号館雑誌室・書庫利用統計	5 3
(14) 日曜・祝日図書館臨時開館入館者統計	5 4
5 参考業務統計	5 5
図書館間相互協力	5 5
6 AV資料等運用業務統計	5 6
(1) AVマイクロ資料利用統計	5 6
(2) AVホール利用統計	5 7
(3) AVゾーン利用者別統計	5 7
(4) マイクロ資料利用者別統計	5 7
(5) 保守点検等	5 7
7 図書館機械化の経緯と現状	5 8
(1) 経緯	5 8
(2) 現状	5 9
8 図書館施設概要	6 0
IV 組織	6 1
1 組織図	6 1
歴代図書館長	6 2
略史	6 2

はじめに

図書館長 山本 輝之

この度、木畑洋一先生の後任として、図書館長をやらせていただくことになりました。微力ではございますが、大学の使命である研究・教育を支える中核機関である図書館を、より利用しやすく、魅力のあるものにすべく努力する所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、2014年度の図書館の活動で特筆すべきことは、サービスの拡充である。まず、その1として、世田谷区民への図書館の開放をあげることができる。これについては、4月から成城学園前の駅などにポスターを掲示し、世田谷区民の皆さんに積極的に告知を行い、応募された方々に5月より利用を始めていただいた。利用いただいた方々からは大変好評を得ることができたので、今後も継続していきたいと考えている。その2は、学生による選書ツアーを実施したことである。これは、学生に図書館に置きたい本を、実際に書店で選んできていただき、その本の紹介や展示を行うものである。これは、まさに学生目線で本を選んでもらうということにより、学生が今読みたいと思っている本、仲間に読んでほしいと思っている本を把握することができるだけでなく、学生に選書する楽しさや難しさを実感してもらい、より図書館への関心を持ってもらうことができる活動でもあると考えている。その意味で、今後も、このような活動をさらに充実させていきたいと考えている。その3は、夏季休暇中に受験生に図書館を利用していただいたり、春季休暇中に合格者に図書館を利用していただくサービスを始めたことである。これは、入試広報活動などへの協力の一環でもあるが、受験生や合格者に成城大学図書館を知っていただく非常によい機会でもあるので、今後も継続的に行っていきたいと考えている。その4として、図書館主催による講演会を開催したことをあげることができる。今年度は、直木賞作家である中島京子氏にご講演をいただいた。そのため、大変関心も高く、多くの方々にご参加いただき、大変好評であった。

そのほか、学外との連携活動として、6大学コンソーシアム当番校を担当したこと、甲南大学で開かれた5大学図書館懇談会に、館長他3名の職員が参加し、現在、大学図書館が直面している問題などについて、様々な視点から意見を出し合い、情報交換を行ったことなどをあげることができる。

このように、学内関係者の皆様からのご支援、図書館職員の努力によって、成城大学図書館のサービス・活動はより拡大・充実しつつあり、今後さらに、このような方向を押し進めるべく尽力していきたいと考えている。しかし、他方で、成城大学図書館が抱えている課題もまた少なくないのが現状である。とりわけ、洋雑誌価格の高騰、業務委託化の問題、新収資料所蔵スペース確保のための貸倉庫への預け入れや書籍等の除籍などは、深刻な問題である。これらを一朝一夕に解決することは大変難しいが、時代の変化に対応し、利用しやすい図書館の体制を作り上げていくためには、これらの解決は避けて通れないものである。そのために、関係各位のさらなるご支援、ご協力をお願いする次第である。

I 概況

1 2014年度の図書館業務

(1) 図書館業務の概況

①人事・組織

- 専任職員は16名であったが、事務長は大学局長と兼務であった。
- 運用課の欠員補充に伴い、4月1日付けで契約職員の採用があった。
- 整理課臨時職員（装備担当）の退職に伴い、4月1日付けで臨時職員の採用があった。
- 総務課契約職員の退職に伴い、5月1日付けで派遣職員の補充があった。
- 総務課臨時職員（雑誌室担当）の産休に伴い、5月1日付けで代替臨時職員の採用があった。
- 7月1日付けの人事異動で、整理課課長補佐1名が教務部学務課へ異動となった。同時に、入試広報部より課長補佐1名が図書館整理課に異動となった。
- 7月1日付けで館内の人事異動があり、整理課洋書担当職員が運用課レファレンスへ異動となった。これに伴い、運用課配架担当職員が整理課洋書へ異動となった。
- 後期より2015年4月の組織改編に向けた準備作業に着手した。同時に、業務委託に関する情報収集を開始した。
- 洋雑誌のリニューアル作業時に整理課職員による応援態勢をとった。
- 2015年2月末をもって運用課の契約職員1名の退職があった。
- 2015年3月末をもって、総務課課長補佐（システム担当）が高等学校事務室へ異動となった。また、運用課長が定年を迎えたほか、総務課の派遣職員1名、臨時職員1名、整理課の契約職員1名がそれぞれ任期満了により退職となった。

②図書館サービスの充実と多様化の促進

1) 学外向けサービス

- 5月より世田谷区民による継続的な図書館利用を開始した。
- 成城学園未来募金の顕彰制度による図書館利用について、検討を開始した。
- 夏季休講期間中の高校生による図書館利用を開始し、館内に受験生応援コーナーを設置して赤本の展示や大学案内などを用意した。
- 春季休講期間中の合格者による図書館利用を開始した。

2) 学内向けサービス

- 国立国会図書館デジタル化送信サービスの実施に向け準備を進め、1月中旬よりサービスの提供を開始した。
- 多読資料の充実を図った。
- 冬季休業期間の初日と最終日の計2日、臨時開館を実施した。

3) イベント、展示等

- 新入生ガイダンス期間中に貴重資料（縮緬本とドイツ児童文学コレクション）の展示を行った。
- 5月に中島京子氏による講演会を開催した。
- 5月に学生有志によるOECD関連の展示を行った。

- オープンキャンパスに合わせ、当日開催されるミニ講義にちなんだ展示を行った。
- 6月と7月に選書ツアーを開催し、夏季休暇中にポップを作成して10月に展示を行った。その後も参加者による交流会を数回行った。
- 7月に貴重資料（ネウマ譜）の展示を行った。
- 7月後半に選書ツアーに参加した学生有志による「学生による学生のための展示」を行った。
- 企画広報部からの提案により、全国から募集した読書のすすめ展を文化祭期間中に開催した。この他、文化祭期間中にはシェークスピア関係の豆本とグローブ座模型の展示、豆本ワークショップ、成城出身の映画監督の作品紹介などの企画展を行い、豆本展示は東京新聞にも取り上げられた。
- 11月に就活関連のデータベースガイダンスを、また、12月には新聞の読み方講座を開催した。
- 11月に「卒論のための文献の探し方ガイダンス」を開催した。
- 12月に学生部との連携により、学生部発行の『学生生活』で取り上げられた視聴覚資料の展示を行い、学内での上映会実施について検討を行った。
- 3月に「図書館職員が薦める本・映画」の展示を行った。
- 3月後半から次年度にかけ、学生有志による「新入生に読んでもらいたい本」の展示を行った。

4) その他

- 昨年度に引き続き、図書館活用法（前期）を開講した。
- 入学式日程変更を受け、今年度から全学的にガイダンスの方式が変更となった。図書館でも4月1日の入学式前オリエンテーションでビデオを上映し、各クラス毎の図書館ガイダンスでは館内ツアーを実施するという二本立てで臨んだ結果、大幅な出席率アップになった。
- 「利用者教育検討ワーキンググループ」を立ち上げ、2015年度の新入生図書館ガイダンスのあり方について検討を行った。また、当ワーキンググループからの答申を受け、11月より「図書館ガイダンスワーキンググループ」に再編し、次年度のガイダンス実施に向けた具体的な作業に入った。
- 今年度予算化されている図書館ホームページの改修に向けた検討を行い、2015年3月に新ホームページを公開した。
- 2015年8月にリース切れとなる図書館システム（E-Cats Library）のリプレイスについて検討を開始した。併せて、ディスカバリーサービスやコンテンツデータ提供サービスについても検討を進めた。なお、12月の予算ヒアリングにおいて、諸般の事情からリプレイスは1年見送りとなった。
- 夜間の閲覧業務（カウンター）を委託している業者との間で、作業マニュアルの見直しを開始した。

③資料の収集・データベース化・保管・廃棄

- 「配架場所検討チーム」を立ち上げ、ナトルプ文庫や和装本の配架先について、また、貴重書室内の再配架について検討を開始した。
- 昨年度に引き続き、経済研究所所蔵資料の図書館システムへの遡及入力作業のサポートを行った。
- 視聴覚資料のうち、CD-ROMやDVD-ROM等の機械可読資料の遡及作業を開始した。
- 博士論文のリポジトリ公開に向け、関係部署との調整を開始した。
- 外資系洋雑誌取引業者の業務終了に伴う欠号、未着資料について、会計課の協力を得ながら補充を行った。
- 視聴覚資料のうち、代替資料の購入が可能なカセットテープや劣化により使用不能となったビデオ

オテープについて、図書館委員会の了承を得ながら除籍作業を行った。また、電子化が確認できた他大学の紀要についても、学部了承を得ながら廃棄の作業を進めた。

- ebrary、丸善 eBook Library、Net Library 等の電子ブックの購入を開始した。
- プレハブ書庫で箱詰めとなっていた OECD や ILO 関連資料の遡及入力を行い、貸倉庫への預け入れを行った。
- 昨年度に引き続き、ナトルプ文庫の脱酸処理（2年目）を実施した。
- 利用を停止している amazon からの購入について、再開に向けた検討を開始した。
- 9月に発生した外資系洋雑誌取引業者の倒産により多大な未着という損害を被った。後日、大手出版社発行の一部の洋雑誌については出版者から直接入手することができたが、債権者としての対応は財務部に一任した。
- 丸善の発注システム Knowledge Worker の導入に向け検討を開始した。
- 長年、貴重書室に保管されていた未受入資料について、文芸学部教員の助言を得ながら内容を調査することになった。
- 洋書の基本カードの一部を廃棄した。
- 和装本を地下3階の書架へ移動するため、大量に帙を作成した。
- 間接経費にて以下の資料を購入した。
 - ・オンライン版 18世紀英国・英語圏刊行物集成 (ECCO)
 - ・Web 版群書類従 (正・続・続々) フルセット
 - ・Net Library 新訂増補国史大系
 - ・丸善 eBook Library レファレンスコレクション
 - ・ウィリアム・E・グリフィスコレクション (マイクロフィルム)
- 研究設備整備費等補助金にて以下の図書を購入した。
 - ・ベルトーフ「子どものための絵本」(全12巻)
 - ・フンケ『『子どものための絵本』への解説書』(全24巻、及び索引1巻)

④学外組織との相互協力の推進

- 世田谷6大学図書館相互利用専門委員会の委員長校(当番校)として、6月13日に成城大学で委員会を開催した。当日は専門委員会と現場担当者による情報交換会を並行して開催し、活発な意見交換が行われた。
- 五大学図書館懇談会が甲南大学で開催され、木畑館長、新井整理課長兼事務長代理、大川運用課長、芳川整理課課長補佐の4名で参加した。また、実務担当者による「四大学図書館相互利用館外個人貸出取扱要領」の見直しが行われ、各館事務長の承認を経て、2015年4月からの運用にむけた整備が行われた。
- 私立大学図書館協会東地区部会次期研究部担当理事校として、2014-2015年度の研修委員会に整理課の粕川課員を派遣した。また、2015-2016年度の私立大学図書館協会研究助成委員の推薦依頼があり、運用課の金田主任を委員として推薦した。その他、2015年度の東地区部会研修会の会場提供依頼があり、学内対応を行った。
- 7月に東京農業大学新図書館の見学を行った。
- 10月に立教大学より司書課程の図書館実習生1名を受け入れた。

⑤学内他部署との連携・協力

- 入学式前オリエンテーションの学生証配付業務等に図書館職員が多数参加した。

- メディアネットワークセンターにレコードプレーヤー1台を移管した。
- キャリア支援部（現キャリアセンター）との連携により、学内インターンシップを実施した。
- 昨年度に引き続き学園図書館図書室連絡会を開催し、全学的な読書普及に向けた2015年度の活動（オール成城学園での対応）について検討を行った。

⑥建物、営繕

- 1階閲覧室にあった記載台をロッカー室へ移動した。
- 地下3階電動集密書架の一部をロックできるように改修し、和装本や脱酸処理の終わったナトルプ文庫置き場に設定した。
- 地下1階AVマイクロ保存室の除湿機に不具合が生じたため、器具の交換を行った。
- 4階事務室で水漏れが発生したため、屋上機械室の排水部分について改修を行った。
- 地下3階設置のつり天井が電動集密書架と接触し、スプリンクラー等にも悪影響を与える恐れが生じたため、一部天井板の撤去を行った。
- 休憩室の一部で外部からの漏水が発生したため、改修を行った。

⑦危機管理

- 前・後期試験中、職員による館内巡回を実施した。
- 7月10日、台風のため試験期の延長開館を1時間早め20時で閉館した。
- 7月24日の閉館直前に停電が発生した。
- 夏季休暇期間中に全学緊急放送受信のための配線工事が行われ、4階事務室に受信板とスピーカーが設置された。
- 大学の防災訓練に合わせ、図書館でも防災訓練を実施した。
- 10月6日、台風による全学休講を受け、終日臨時閉館した。
- 10月13日、台風による休講を受け、16時30分で閉館した。
- 地下1階閲覧席付近のコンセントで経年劣化による不具合が生じたため、対応を行った。

(2) 総務課業務

①人員と担当

総務課長を含め、職員4名、契約職員2名、派遣職員1名、アルバイト職員4名にて業務を行ったが、前期中に契約職員1名が退職したため派遣職員で補充を行った。

雑誌業務については和雑誌に職員1名、洋雑誌・電子資料に職員1名が従事し、アルバイト職員1名が日々の受入作業を行った。この他、冊子体、電子ジャーナル、データベース等各種媒体の契約や書誌情報の管理、また、除籍作業などにも積極的に取り組んだ。

庶務・会計業務は職員1名が担当し、日々の庶務業務を雑誌担当者と連携しながら業務にあたった。

3号館雑誌室業務については職員1名が主担当として雑誌室関連の業務を統括し、アルバイト職員3名が交替でカウンター対応や配架業務、遡及作業、更に製本業務にあたった。この他、従来レファレンスカウンターと総務課が分業で行っていた他機関から依頼のあった文献複写についても、昨年と同様に、雑誌室で対応した。

②雑誌業務

a. 発注、受入、整理

2014年度は購入、編入合わせて2,411冊を受け入れた。また、3,114種の雑誌、紀要、新聞について受入作業をおこなった。いずれも図書館システムに所蔵登録をおこない、バーコードラベル、無断持ち出し防止装置の装着後、閲覧係や研究室・資料室などへ提供した。

b. 除籍

除籍は資産扱いのもの78冊と資産外扱いのもの27冊を処理した。学部地了解を得ながら継続して除籍を進め、書庫狭隘の解消に向けた作業が進められた。

c. 会計処理

図書館システムへの金額入力により、会計係との連携を図った。

d. 業者によるガイダンスの実施

学生の就職活動時期が遅くなったことから後期のみ2回実施した。11月は図書館外の教室にて東洋経済デジタルコンテンツライブラリーを使った「データベースを使って就職情報収集」を、12月は図書館内アクティブラーニングエリアにて日経メディアプロモーションによる「就職準備のための新聞の活用」を開催した。各回ともキャリア支援部と共催とし、先生方にもチラシの配布や宣伝活動にご協力いただき、参加者を集めた。

③庶務業務

庶務担当は日常的に郵便物処理、書類の配付・回覧、各種学内提出書類、文部科学省調査等対外書類・報告書の作成をおこなったほか、学園資料の収集と保管、廃棄などの作業も積極的に行った。

④会計業務

会計担当は日常的に支払依頼票起票、帳簿管理、書類内容チェック、前渡し金管理、現金収入管理や予算・決算書作成、伝票整理、固定資産台帳整理、原議書の起案等をおこなった。

⑤システム管理業務

2015年度は図書館システムE-Cats Libraryの更新時期でありリプレースに向けた情報収集等を行ったが、導入は2016年度となった。また、メディアネットワークセンターとも連携し、館内ネットワークの整備や学習用PCの導入サポートにあたった。PCロッカーの利用は1台あたり、770人が利用していた。

⑥3号館雑誌室業務

雑誌室利用者へのサービスと地下書庫の管理を行った。製本業務、未遡及資料の図書館システムへの入力作業、文献複写業務も行い、地下書庫については空気の循環にも配慮した。アクティブラーニングエリアの設置により、利用者も増加している。

a. 製本業務

図書館と各学部合わせて2, 172冊の製本発注受入をおこなった。

b. 文献複写発送業務

処理件数728は件、枚数は4, 428枚であった。

⑦設備機器保守管理業務

a. 設備機器の保守管理

b. 各種設備・機器の修理依頼

c. 館内各所、旧館書庫内および3号館書庫での温湿度調査を続けた。

d. 新任の職員や委託スタッフなどへ館内消火設備や避難誘導の指導を実施した。

e. 全学で実施した防災訓練の際に、図書館地区隊として独自の防災訓練を実施した。

f. 事務室内等の蛍光灯使用を控え、電力使用量を抑えた。

(3) 整理課業務

①人員と担当

人員は整理課長を含めて専任職員5名、契約職員6名、臨時職員3名の14名体制であり、業務分担は受入・発注が3名（内1名は除籍を兼務）、和書整理5名、洋書整理3名、AV・マイクロ資料1名、装備1名（実働時間数による人数は1.5名）であった。

4月より整理課長が事務長代理を兼務したため、実質的な整理業務からは離れてしまった。また、7月に課長補佐の異動（図書館から教務部学務課へ、入試広報部から図書館へ）と洋書担当者の館内異動があった。

前年度に引き続き、和書受入担当者による整理作業の兼務や和書整理担当者によるAV・マイクロ資料の整理、更に装備についても複数の職員が担当することで、業務の継承と効率化に努めた。

②発注・受入業務、除籍業務

a. 発注・受入業務

2014年度の受入冊数は、購入・寄贈合わせて和書8,195冊、洋書3,839冊であった。なお、購入資料には1冊単位で購入できる電子ブック（和書108点、洋書1点）が含まれている。

b. 除籍業務

今年度の除籍総数は147冊（和書84冊、洋書63冊）であり、蔵書点検による不明本や汚損本のみが対象であった。

③整理業務

a. 和書整理業務

今年度の整理冊数は、新規受入図書が7,471冊、再整理が3,487冊であった。

2010年に作成した「図書記号の取り方」について見直しを行い、マニュアル類の整備に努めた。

b. 洋書整理業務

今年度の整理冊数は、新規受入図書が3,893冊、遡及が50冊、再整理が286冊であった。

英語多読資料の特別整理に際し、新たに独自のレベル算定基準を設けることで、一昨年度に開設した「英語多読コーナー」の資料との整理上の継続性を保った。

また、旧資料保存委員会から業務を引き継いだナトルプ文庫の脱酸処理（735冊）を行い、併せて手稿資料の整理（326件）を行った。

更に、前年度と同様に経済研究所の目録カード遡及事業について、業者が作成したデータ2,576件について、内容の確認と修正を行った。

④AV・マイクロ資料業務

a. 受入

今年度の新規受入点数は1,050点であり、主な資料はCD231点、DVD481点、Blu-ray114点、マイクロ資料167点であった。

b. 整理

今年度の新規整理点数は映像資料が607点、録音資料が121点、電子資料が115点、マイクロ資料が145点であった。また、CD-ROMなどの電子資料641点の遡及入力を行ったほか、除籍のため録音資料782点の遡及入力を行った。

c. 除籍

図書館委員会にて承認を得たカセット資料918点と、経年劣化により使用不能となったビデオやフィルム362点の除籍を行った。

(4) 運用課業務

①人員と構成

課員は課長を含めて専任職員6名（内訳は参考係2名・閲覧係3名）と、他契約職員6名でメインカウンター・AVカウンター・配架等の業務を行った。

受付業務は臨時職員2名が交替で行い、配架業務も臨時職員2名が週3～4日の交替勤務でそれぞれ担当した。

夜間の時間帯は業務委託とし、受付1名・閲覧係2名・AV係1名で対応した。

②各カウンター業務

1) メインカウンター

a. 延滞時の貸出停止期間の上限設定

従来は延滞日数と同一日数で無制限に貸出停止としていたが、4月より最長28日とすることとした。

b. 学園高校生の利用証

4月より発行枚数を従来の30枚から50枚に増やした。

c. コミュニティー・カレッジ受講生へのサービス向上

3冊2週間の図書貸出を可能とした。また講座受講期間直後の休講期間も図書館利用を可能とした。

d. 世田谷区民利用を開始

4月に申込を受け付け、5月より年度末まで3冊2週間の図書貸出を含む図書館利用を可能とした。利用登録者は11名であった。

e. 蔵書点検について

3月に地下3階と旧館1層の洋書、約11万冊について蔵書点検を実施した。

2) レファレンスカウンター

a. 各種ガイダンスについて

4月恒例の新入生ガイダンスでは、大学院新生へのガイダンスを担当した。教員からの要請による「ゼミ向けガイダンス」は22回行い、受講者は332名であった。

また、今年度は「卒論のための文献検索」と題した個別ガイダンスを3回行い、受講者は4名であった。

b. 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスについて

1月より国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用を開始し、利用件数は5件であった。

c. 蔵書点検について

参考図書コーナーおよび年鑑白書コーナーに配架されているすべての資料の蔵書点検を延べ人数8人、期間は2日間で実施した。

③祝日開館について

祝日授業のため4月29日・7月21日・9月23日・10月13日・11月24日・12月23日に通常開館した。

④臨時開館について

試験期臨時開館を前期試験の7月20日・27日の日曜日及び後期試験前の1月17日・18日のセンター試験日に実施した。また新たに年末年始の12月24日及び1月6日にも臨時開館を実施した。

(5) 図書選定委員会業務

①委員

委員長1名、委員5名

②任期

2014年4月1日～2015年3月31日

③開催日程

定例で毎週火曜日の朝9時20分からの開催とし、2014年4月から2015年3月まで、計25回開催した。

④活動状況

1) 従来同様に、出版案内・出版目録・新聞書評等を用いて、学生の利用を想定した資料及び貴重書の選定をおこなった。

2) 購入希望(リクエスト)資料

購入の可否は、原則として委員会にて決定したが、定例の委員会以外でも、必要に応じて各委員の意見を聴取した上で、委員長が決定した。

学生や教職員からの「リクエストカード」による購入希望および館員からの推薦による購入希望を含めた今年度の承認数は以下のとおりである。

和書	204	(学生	106	大学院生	22	教職員	76)
洋書	71	(学生	25	大学院生	33	教職員	13)
AV資料	174	(学生	70	大学院生	4	教職員	100)

*単位は資料により異なる(冊・枚・本)

(6) 広報委員会業務

①委員

委員長1名、委員5名

②任期

2014年5月1日～2015年4月30日

年度途中で任期が変更(2014年5月1日～2015年3月31日)された。

③委員会の開催

2014年度は17回開催した。このほか、行事の企画および印刷発行物の製作状況などに応じて、短時間の打ち合わせを何度か行った。

④活動内容

1) 各種刊行物の編集・発行・配布

「図書館暦」(和文、A4版、7月・10月・1月発行)

第125号(2014年7月)～第127号(2014年1月)を刊行した。

年度の途中で図書館暦の発行回数を年2回とすることが決まり、2015年度にかかる第128号は次年度委員会で発行することとなった。

各号の内容

第125号(2014年7月、6頁、2色刷、3,500部)

特集『大学時代』／松本優子

中島京子さん講演会報告!／畠山仁美

本とわたしの足跡／岡村美香

とある司書の大学生活／成田義樹

第126号(2014年10月、4頁、2色刷、1,200部)

卒論・レポートに“使える”文献探します!ーレファレンスカウンター／金田陽治

芸術&読書の秋ー文化祭展示紹介ー

第127号(2015年1月、4頁、4色刷、1,500部)

特集 文化祭報告

・豆本コレクションの楽しみ／川崎眞五郎

・豆本ワークショップ ・グローブ座模型展示 ・卒業生映画監督の作品展示

おすすめ本・映画、紹介します!／学部学生

「LIBRARY GUIDE Student Edition」(図書館利用案内、和文、A5、カラー22頁、年1回発行)

今年度は、新入生を対象とした利用案内、1冊(A5版)を作成した。図書館の概要、特色、施設紹介、フロアガイド、サービス内容などについて、利用方法を中心に解説したものである。新入生ガイダンスで配布した。印刷部数は1,800部である。

「Seijo University Library Guide」(和文、B5版、全12種、年1回発行)

各施設の使い方、各カウンターのサービス内容などを説明したリーフレットである。

2) 図書館主催「中島京子さん講演会」

木畑館長の発案で、今年度初めて図書館主催、成城学びの森共催の講演会を5月16日に開催した。広報委員は、この講演会のポスターやちらしの作成、掲示や当日の司会、補助を行った。

3) 文化祭一般公開(11月2日、3日)

今年度は、社会イノベーション研究科院生の川崎眞五郎氏所蔵のシェイクスピア関連の豆本と図書館所蔵グローブ座模型の展示、そして、卒業生映画監督の作品紹介という2つのテーマによる展示を行った。川崎氏による解説とグローブ座の解説を豆本サイズで作成し配布したほか、来館者に実際に豆本を作成してもらうワークショップも同時に開催した。館内には、例年通り音楽を流した。入館者は2日間で930人、展示観覧者は100人を超え、ワークショップも60人を超える参加者となった。

豆本の展示は11月末まで継続して行い、展示期間中に東京新聞の取材を受け記事として掲載された。

4) 学生部共催の展示

学生部発行のCampusSeijo学生生活241号の掲載記事『教職員が選ぶこの冬休みに見るべき映画』で紹介された資料の展示を図書館で行った。

5) HPのリニューアル

2000年3月27日より稼働していたHPをリニューアルし、2015年3月27日に公開した。PCだけでなくスマートフォンをはじめとしたモバイル端末にも対応し、より親しみやすいデザインとなった。

6) 図書館グッズの作成

新入生ガイダンスに配布する目的で図書館グッズ(A4版の資料がつつめる大きさのブックカバーと栞)(各1,500)を作成した。

7) 広報委員会公認キャラクター誕生

2月19日の会議で広報委員会公認キャラクターが誕生し、図書館案内等に登場することとなった。

(7) システム委員会業務

①委員

委員長1名、委員5名

②任期

2014年4月1日～2015年3月31日

③委員会の開催

2014年度は5回開催した。

④活動内容

2014年度のシステム委員会では、図書館システムのリプレイスに向けた検討を中心的に行った。リプレイスに際しては、現行システムのE-Cats Libraryに慣れてきたところなので、引き続き同一メーカー（NEC）が適切ではないかとの意見が多数であった。NECによるデモでは現行システムの最新バージョンについて説明があり、機能の充実ぶりが確認できた。

その後の検討で、別システムに変更した場合のコストおよび作業量が膨大になる可能性等を考慮した結果、次期図書館システムは上記のE-Cats Library Ver.5にすることを決定した。

また、利用者の利便性向上のため、ディスカバリーサービスの導入、OPAC画面を請求票に印刷する機能、学外利用者の利用カードの統一化などが協議され、図書館システムとの連携の可能性や是非について検討した。

上記の決定と検討に基づき、NECシステムのリプレイスおよびサービスの向上に有用な機能拡張等の提案について、2015年度図書館予算として申請したが、システムリプレイスについては1年先送り（2016年度実施）、その他については見送られることとなった。

(8) スチューデントアシスタントワーキンググループ

①委員

委員長1名、委員6名

②任期

2014年4月1日～2015年3月31日

③委員会の開催

2014年度は5回開催した。(2014年4月14日・4月24日・5月29日・12月12日・1月30日)

④活動内容

1) 一昨年度から始めた選書ツアーを実施した。昨年度と同様、ツアー実施期間内で学生の都合の良い日に書店に行ってもらう方法とし、6月9日(月)～6月14日(土)の期間に丸善丸の内本店で実施した。参加者は20名であった。また、7月2日(水)東京国際ブックフェアでの選書ツアーに1名が参加した。なお、参加者には図書カード1,000円分を支給した。

選書ツアー参加者 21名

購入図書 221冊

展示期間 10月1日～10月31日

2) 昨年選書ツアーに参加した学生が選んだ学生による学生のための展示として、OECD関連の資料展示を6月12日(木)～7月11日(金)に行った。

3) 今年度初めてキャリア支援部からの依頼により、9月16日(火)～20日(土)にインターンシップ学生3名を受入れた。各部署の業務説明を受けたのち、整理や装備、配架、カウンター業務などの実務を体験した。

4) 3月上旬には図書館職員が薦める本・映画の展示を行い、続いて3月下旬から今年度選書ツアー参加者数名による「新入生に読んでもらいたい本」の展示と、「お薦め本付き館内フロアマップ」の展示を行った。なお、この時のメンバーが後にLS(ライブラリーサポーター)が誕生するきっかけとなった。

(9) 情報リテラシー教育ワーキンググループ

①委員

委員長1名、委員5名

②任期

2014年4月1日～2015年3月31日

③委員会の開催

2014年4月から2014年12月まで、計23回開催した。

④活動内容

今年度で2回目の開講となる「図書館活用法」の授業については、履修予備申請時点で定員（63名）の2倍以上の168名の学生より受講希望があった。授業環境としては教室が前回の802教室より821教室へ、授業日時も月曜日1時限より水曜日3時限へ変更されたこともあり、昨年度と若干異なる設備や受講者の雰囲気当初は戸惑う点もあった。

全15回の授業と筆記による定期試験も無事終了することができ、学生による授業アンケート結果についてもまずまずの手応えがあった。

後期より来年度授業の検討を行い、基本的には今年度を踏襲する形でシラバスと学習達成目標を改訂した。また、2015年1月より副担当であった新井、坂本両委員が正委員となり、新たに野田、粕川両委員が副担当として参加することになった。金田委員は2014年12月末をもって委員を退任した。

(10) 利用者教育検討ワーキンググループ（図書館ガイダンスワーキンググループ）

①経緯

利用者教育検討ワーキンググループは、新入生ガイダンスをはじめ、レファレンスカウンター担当のゼミ向けガイダンス、総務課担当のデータベースのセミナーなど、図書館で行っているさまざまな利用者教育の内容や時期、実施体制などを見直すために結成された。さらに、利用者教育検討ワーキンググループの検討結果を受け、図書館内の各種ガイダンスを担う組織として、図書館ガイダンスワーキンググループが結成された。

②委員

- 1) 利用者教育検討ワーキンググループ
委員長1名、委員4名
- 2) 図書館ガイダンスワーキンググループ
委員長1名、委員7名

③任期

- 1) 利用者教育検討ワーキンググループ
2014年4月1日～2014年10月31日
- 2) 図書館ガイダンスワーキンググループ
2014年11月1日～2015年4月9日

④開催

- 1) 利用者教育検討ワーキンググループ
任期期間中に8回開催した。
- 2) 図書館ガイダンスワーキンググループ
任期期間中に7回開催した。その他、担当者間で各種ガイダンスの打合せを行った。

⑤活動内容

- 1) 利用者教育検討ワーキンググループ
 - a. 各種ガイダンスの検討
図書館で実施している各種ガイダンスの内容や時期、実施体制などを見直し、今後、当館としてどのような利用者教育の機会を提供すればいいのかを検討した。
 - b. 答申の作成
新入生ガイダンスの実施内容と、各種ガイダンスの担当者の見直しを中心とした内容の答申を作成した。
- 2) 図書館ガイダンスワーキンググループ
2014年度は、総務課が担当していたセミナー（データベース利用と就活対策）と広報委員会が担当していた新入生ガイダンス（2015年度分）を当ワーキンググループで実施した。
 - a. セミナー
キャリア支援部共催のもと就活対策のセミナーを開催した。
○東洋経済データベース利用セミナー

日時 : 2014年11月21日(金) 18:00~19:30

場所 : 教室821

講師 : 株式会社東洋経済新報社 西村雄吉氏

参加者 : 15名

○日本経済新聞の活用セミナー

日時 : 2014年12月10日(水) 18:00~19:30

場所 : 図書館1階アクティブラーニングエリア

講師 : 日経メディアプロモーション株式会社 圓尾弘和氏

参加者 : 24名

b. 新入生ガイダンス

2014年4月の新入生ガイダンスは、例年図書館内で行っていたビデオ上映+館内ツアーのうち、ビデオ上映を新入生オリエンテーションで行うことになった。これはガイダンスの割り当て時間が90分から60分に変更されたため、それに合わせビデオも館内ツアーも内容を見直した。特にビデオ上映は、図書館の利用方法からイメージビデオに内容を一新したことで新入生からも好評だった。

(11) 配架場所検討チーム

①委員

委員長1名、委員4名

②任期

2014年4月1日～2015年3月31日

③委員会の開催

委員会を6回開催し、別に資料の移動作業を数日間行った。

④活動内容

長年に渡って放置されていた、貴重書室内の書庫狭隘化問題を解決することと、脱酸処理を行ったナトルプ文庫の資料保存に適切な配架場所を検討するために、当チームが結成された。

当チームでは、それまで主に事務用として利用されていた地下3階のCブロックの一部を新たに資料を配架する場所として検討を進めた。この新たな配架場所は固定ブロックとして利用者が自由に稼働できないように改修し、貴重書室内に配架されていた資料から、貴重書指定のされていない和装本と、脱酸処理を行ったナトルプ文庫から、貴重書を除いた資料をここへ移動した。

2 図書館職員の研修、出張等

(1) 学外研修

年 月 日	研修主催団体・研修場所	研修会名
2014年 6月 9日～6月 13日	東洋文庫	漢籍整理長期研修
2014年 6月 20日	(株)アリサ・ソリューション・テクノロジー・ジャパン	脱酸処理工場見学
2014年 7月 1日	東京農業大学図書館	新図書館見学
2014年 7月 10日	(株)アリサ・ソリューション・テクノロジー・ジャパン	脱酸処理工場見学
2014年 9月 8日～9月 12日	東洋文庫	漢籍整理長期研修
2014年 10月 1日～10月 3日	国立情報学研究所	NIJ目録システム講習会
2014年 10月 30日	国立国会図書館	データベースフォーラム2014
2014年 10月 31日	甲南大学	五大学図書館懇談会
2014年 11月 7日	パシフィック横浜	第16回図書館総合展
2014年 11月 12日～11月 14日	一橋大学	西洋社会科学古典資料講習会
2014年 12月 7日～12月 10日	Ebsco International, Inc.	Ebscoユーザー会 (タイムリーティング)
2015年 1月 27日～1月 29日	国文学研究資料館	日本古典籍講習会
2015年 1月 30日	国立国会図書館	日本古典籍講習会

(2) 研究分科会他

2014年 4月～2015年 3月	私立大学図書館協会東地区部会研究部	和漢古典籍研究分科会
2014年 4月～2015年 2月	私立大学図書館協会東地区部会研究部	パブリックサービス研究分科会

(3) 館内研修

2014年 9月 24日	図書館	防災訓練
--------------	-----	------

(4) 学内研修

SD研修 (学園の現状、AED講習、入試の動向について、タイムマネジメント研修ほか)、階層別研修、メンタルヘルス研修ほかに職員が参加した。

(5) 出張

2014年 4月 14日	国土館大学図書館	世田谷6大学コンソーシアム 図書館相互利用専門委員会
2014年 4月 24日	私立大学図書館協会東地区部会研究部	企画広報研究分科会
2014年 6月 13日	成城大学	世田谷6大学コンソーシアム
2014年 6月 14日	成蹊大学	私立大学図書館協会東地区部会総会
2014年 7月 2日	東京ビックサイト	東京国際ブックフェア
2013年 9月 10日	一橋大学	大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 版元提案説明会

3 図書館相互利用（五大学・世田谷6大学）

（1）五大学図書館懇談会

2014年度第39回の懇談会は甲南大学を幹事校として開催された。相互の図書館活動の協力と情報交換を中心に、館長、事務長、担当者の3グループに分かれて、各図書館の抱えている問題について様々な意見交換がなされた。

2014年度五大学図書館懇談会（第39回）

日時：2014（平成26）年10月31日（金）14：00～16：45

会場：甲南大学9号館4階第6会議室、第5会議室、5号館3階5301

出席者：成城大学は図書館長ほか3名

[懇談事項]

1. 各館の近況報告

各大学より近況報告と新たな取り組み、課題などの報告が行われた。

2. 各グループでの情報交換・討議・報告

（館長グループ）大学生の図書館利用について、学生が書物、特に“教養書”と言われるような書物を読むように手助けできる図書館の施策について、書庫の狭隘化の対策方法およびそれに伴う外部倉庫の利用状況等について、四大学図書館相互利用規則の見直しについて、図書館での飲料の利用について、以上5点について意見交換が行われた。

（管理職グループ）図書館運営について、図書館の危機管理について、図書館における学修支援活動の取り組みについて、以上3点について意見交換が行われた。

（担当者グループ）利用者教育(学習支援)への取り組みについて、学生参加のイベント・活動について、相互利用の広報について、委託業者との情報交換および情報共有の方策について、図書館ガイダンスの実施体制について、以上5点について意見交換が行われた。

(2) 世田谷6大学コンソーシアム図書館相互利用専門委員会

第14回 世田谷6大学コンソーシアムの図書館相互利用専門委員会

日時：2014（平成26）年6月13日（金） 15:00～17:10

会場：成城大学 3号館3階大会議室ほか

出席者：成城大学は図書館長ほか4名

今年度は限られた時間内で有効な情報交換が行えるよう専門委員会とは別に、現場担当者による情報交換会を別室にて開催した。

<専門委員会>

[報告事項]

前年度の利用実績や利用証の発行数、横断検索のアクセス数について、また、今年度の利用条件一覧について報告が行われた。

[協議事項]

世田谷6大学コンソーシアム図書館横断検索について協議が行われた。このほか、現場担当者による情報交換会を設けることについてや業務委託の状況、電子資料の問題、アクティブラーニングの現状などについて意見交換が行われた。

<情報交換会>

事務組織と業務分担の現状について、業務委託の現状と課題について、電子媒体資料（データベースや電子ジャーナル）の課題について、機関リポジトリについて、以上4点について意見交換が行われた。

(3) 四大学図書館相互利用実績

①入館者統計 (2014.4~2015.3)

所属大学		受入館	学習院	成蹊	成城	武蔵	所属合計
学習院	教職員	学習院	学習院	0	2	1	122
	学生			36	36	47	
成蹊	教職員	87	成蹊	成蹊	4	1	174
	学生				52	30	
成城	教職員	57	成城	成城	0	6	141
	学生				40	38	
武蔵	教職員	144	武蔵	武蔵	4	0	210
	学生				30	32	
小計	教職員	288	小計	小計	4	6	647
	学生				106	120	
受入合計			288	110	126	123	647

*学習院大学は2005年度から入館システムを変更した。
このため教職員・学生の区別が不可能となった。

②貸出統計 (2014.4~2015.3)

所属大学		受入館	学習院	成蹊	成城	武蔵	合計
学習院	登録者数	学習院	学習院	5	4	12	21
	貸出冊数			24	5	37	66
成蹊	登録者数	13	成蹊	成蹊	4	5	22
	貸出冊数	56			16	10	82
成城	登録者数	8	成城	成城	成城	9	24
	貸出冊数	87				17	46
武蔵	登録者数	32	武蔵	武蔵	武蔵	武蔵	46
	貸出冊数	163					24
合計	登録者数	53	合計	合計	合計	合計	113
	貸出冊数	306					65

(4) 世田谷6大学図書館相互利用実績

①入館者統計 (2014.4～2015.3)

所属大学	受入館			国土館大学へ			駒澤大学へ			昭和女子大学へ			成城大学へ			京都市大学へ			東京農業大学へ			利用者数 合計													
	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生											
国土館大学から	/			6	5	16	計 27			5	0	1	計 6			4	26	計 30			0	0	0	計 0			3	0	4	計 7			18	31	21
駒澤大学から				0	0	61	/			1	0	17	計 18			2	25	計 27			1	0	2	計 3			1	0	1	計 2			5	25	81
昭和女子大学から	10	0	21	0	2	38				/			/			5	11	計 16			0	0	0	計 0			0	0	0	計 0			15	13	62
成城大学から	0	0	11	0	0	7	計 7									0	2	2	計 4			/			0	0	0	計 0			0	0	0	計 0	
京都市大学から	0	0	0	1	0	7	計 8			0	0	4	計 4			0	6	計 6			0				0	0	計 0			0	0	0	計 0		
東京農業大学から	1	0	19	3	1	5	計 9			0	0	1	計 1			5	16	計 21			0	0	43	計 43			0	0	0	計 0			9	17	68
受入数 合計	11	0	112	10	8	73	計 91			6	2	25	計 33			16	84	計 100			1	0	45	計 46			4	0	21	計 25			48	94	276
	計 123			計 91			計 33			計 100			計 46			計 25			計 418																

※1 成城大学は、院生と学部生の区別はしていない。

②利用証(貸出登録)発行数(2014.4～2015.3)

発行先 発行館	国士舘大学へ			駒澤大学へ			昭和女子大学へ			成城大学へ			東京都市大学へ			東京農業大学へ			発行数 合計
	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	教職員	院生	学部生	
国士舘大学より	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
駒澤大学より	1	0	0				0	1	5	0	0	2	0	0	0	2	1	3	15
昭和女子大学より	0	0	0																0
成城大学より	1	1	0	1	1	4	0	0	2	0	0		0	0	1	1	0	1	13
東京都市大学より	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	2	5
東京農業大学より	1	0	2	1	0	1	0	0	2	0	0	5	0	0	0				12
身分別登録者数	3	1	2	3	1	6	0	1	9	0	1	7	0	0	1	3	1	6	
登録者 合計	6			10			10			8			1			10			45

※1 発行館＝受入館として利用証(貸出登録)を発行した館

※2 国士舘大学図書館・情報メディアセンターは、利用証を発行しないで貸し出しを実施。

Ⅱ 2014年度の委員会報告

1 図書館委員会報告

■第1回■ 2014年5月29日（木）

<報告事項>

2013年度業務概要／2013年度図書館決算報告・2014年度図書館予算／2014年度貸倉庫新規預け入れについて／新入生ガイダンス報告／四大学・世田谷6大学相互利用実績について／2014年度の臨時開館について／専任教員貸出資料の年度末確認作業について／選書ツアーについて／世田谷区民（在勤者を含む）の成城大学図書館の利用について／メールによる貸倉庫預入資料の取り寄せについて／図書館利用規則について／図書館主催・中島京子氏による講演会について／その他、①世田谷6大学コンソーシアム図書館相互利用専門委員会について、②私立大学図書館協会東地区部会研究部担当理事校について、③学園図書館図書室連絡会について、④大学院生からの要望について

<審議事項>

視聴覚資料の除籍について／2014年度大学共通図書費について／2014年度学習図書費の配分（案）について

<その他>

図書館への要望について

■第2回■ 2014年7月8日（火）

<報告事項>

2014年度夏季休暇前後の図書館スケジュールについて／2014年度貸倉庫預け入れについて／「選書ツアー」について／OECD Student Ambassador（学生大使）の展示について／世田谷6大学コンソーシアム「図書館相互利用専門委員会」開催について／非常勤講師による学習図書購入について／次年度に向けた洋雑誌のリニューアルについて／立教大学からの実習生受入について／成城大学インターンシップ学生の図書館受入について／その他、①AVホール利用に伴うメールによる申し込みについて、②8月中の学外の利用者による図書館利用について

<審議事項>

2014年度大学共通図書費について／図書館利用規則について／視聴覚資料の除籍について／学習図書費による電子資料（データベース）の購入について／8月中の受験生による図書館利用について

■第3回■ 2014年11月18日（火）

<報告事項>

2015（平成27）年度図書館概算要求案について／大学共通図書費、学習図書費の執行状況について／雑誌定期継続購入の新規・中止リストについて／12月・1月の臨時開館について／本年度貸倉庫新規預け入れ作業について／その他、①館内の資料展示について、②第2回学園図書館図書室連絡会について、③データベースセミナーについて、④2014年（平成26）年度夏季休講期間中の高校生・受験生の大学図書館利用について

<審議事項>

組織変更に伴う規則改正（案）について／春季休講期間中の本学入学予定者の図書館利用について／学習図書費による電子資料（データベース等）の購入について

<その他>

2015（平成27）年度世田谷区民の図書館利用について／コーポレートカードによる Amazon.co.jp からの図書購入（学部予算）について

■第4回■ 2015年2月25日（水）

<報告事項>

2015年度図書館予算について／2014年度学習図書費・共通図書費の執行状況について／2014年度後期試験期等の臨時開館について／2014年度ガイダンスの実施状況について／2014年度後期データベースセミナーについて／2014年度貸倉庫新規預け入れ作業及び2015年度預け入れ予定について／年度末から新年度にかけての各種スケジュールについて／図書館規則の改定について／その他、①四大学図書館相互利用館外個人貸出取扱要領の一部改正について、②入学予定者の図書館利用について、③丸善ナレッジワーカーの導入とアマゾンからの購入について、④SWETS社について

<その他>

専任教員貸出資料の年度末確認作業のお願いについて／未来募金者の図書館利用（案）について／学園図書館図書室連絡会の開催について／2015年度世田谷区民の成城大学図書館利用について

2 運営会報告

■第1回■ 2014年4月7日（月）

会計監査について／洋雑誌の支払いについて／図書館利用規則について／学部研究室からの資料返却について／グループ学習室4の利用について／世田谷区民の図書館利用の応募状況について／世田谷6大学コンソーシアム図書館相互利用専門委員会について／教育研修事業の募集について／配架場所検討チーム（仮称）について／修学支援学生について／図書館主催の講演会について

■第2回■ 2014年4月16日（水）

人事異動について／世田谷区民図書館利用の募集期間延長について／SAWGからの報告について／卒業式の名称について／講習会参加案内について／ホームページの改訂について／配架場所検討チームについて／世田谷6大学コンソーシアムについて／五大学図書館懇談会について／図書館主催の講演会について／修学支援学生について

■第3回■ 2014年4月21日（月）

館内工事の予定について／ポスターの掲示場所について／洋雑誌の貸倉庫預け入れについて／図書館実習生の受入について／図書館主催の講演会について／ホームページの改訂について／退職に伴う館内委員会の交替について／第2世紀プランの説明会について／配架先検討グループの配架案について／大学院生の貸出冊数について／特殊なリクエストについて／貸倉庫預け入れのための資料選別について／専任教員からの要望について／図書館活用法について

■第4回■ 2014年4月28日（月）

館内放送設備について／総務課職員の交替について／SAWG報告／貸倉庫預け入れのための地下3階の資料選別について／ホームページ改訂について／記載台の設置場所について／各種研修会の参加について／未登録資料について／英語多読資料について／学会開催日の図書館見学について／振替授業日の対応について

■第5回■ 2014年5月1日（木）

世田谷区民利用の応募状況について／振替授業日の対応について／各種委員会委員について／世田谷6大学コンソーシアムについて／専任教員からの要望について

■第6回■ 2014年5月7日（水）

5月10日（土）振替授業日の対応について／教育研究所主催の新人研修について／新システムのデモについて／私図協東地区部会総会・館長会・研究講演会について／世田谷6大学コンソーシアム専門委員会について／図書館委員会の開催日について／国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスについて

■第7回■ 2014年5月14日(水)

前期データベースセミナーの開催について/世田谷区民の3号館雑誌室利用について/平成26年度第1回図書館委員会の議題について/マスコミ研究会の取材について/選書ツアーの募集について/著作権講習会について/私大図書館協会の研修委員会の開催について/文学研究科からの要望について/地下3階電動書架固定化の費用について/図書館主催の講演会について/専任教員のメールによる貸倉庫利用について/図書館利用規則について/世田谷6大学コンソーシアム専門委員会について

■第8回■ 2014年5月19日(月)

第1回図書館委員会の議題について/他大学の図書館広報誌について/専任教職員による紹介者の利用について/中島京子さんの講演会について/漢籍講習会の参加について/システム委員会報告について/国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスについて

■第9回■ 2014年5月26日(月)

使用電力調査について/第1回図書館委員会の資料の確認について/学生の展示企画について/四大学相互利用について/AV資料の館外貸出について/著作権講習会について/創立100周年未来募金寄付者の図書館利用について/自己点検報告書について/My Libraryの不具合について

■第10回■ 2014年6月3日(火)

プリザベーション・テクノロジーズ・ジャパンの工場見学会について/コミュニティカレッジ受講生および世田谷区民利用者の入館期限と貸出期限日について/大学院文学研究科の要望について/SAWGからの報告について/第75回私図協総会・研究大会について/創立100周年未来募金寄付者の図書館利用について/配架チームからの報告について/自己点検報告書について/夏季休暇中の受験生の図書館利用について/ナトルプ文庫の再整理案について/世田谷6大学図書館相互利用専門委員会について

■第11回■ 2014年6月9日(月)

メンタルヘルス研修について/オール成城オープンキャンパスの来場者について/立教大学実習生の受入について/第2回貸倉庫預け入れ資料選別について/学生による展示企画について/ブックフェアについて/MNC委員会報告について/私立大学庶務課長会の研修について/貴重書の展示について/私図協研究助成委員会への委員派遣について/専任教員からの要望について

■第12回■ 2014年6月16日(月)

立教大学実習生の受入について/第2回図書館委員会開催日について/コミュニティカレッジ受講生へのお知らせについて/利用者の声について/名誉教授証について/東京農業大学図書館の見学について/学外利用者からの要望について/自己点検報告書について/人事異動後の委員会について/3号館雑誌室の夏季休暇中の開室について/私図協東地区部会総会について/システム委員会報告について/世田谷6大学コンソーシアム横断検索システムについて

■第13回■ 2014年6月23日(月)

東京農業大学図書館の見学について／夏季休暇勤務表について／第2回図書館委員会について／東京国際ブックフェアについて／AVホールのメールによる申し込みについて／Campus Square 外部データセンター利用検討に関する小委員会報告について／広報委員会委員の交代について／世田谷6大学コンソーシアム運営委員会学長会議について／創立100周年未来募金寄付者の図書館利用について／高等教育質保証学会の見学について／進学アドバイザーについて／私図協研究助成委員会への委員派遣について

■第14回■ 2014年6月30日(月)

2013年度図書館年報の割り当てについて／夏季休暇中の時差出勤について／第2回図書館委員会について／洋雑誌の貸倉庫預け入れについて／貸倉庫預け入れのための地下3階資料の選別について／交換留学協定校学長の図書館見学について／火元責任者の記載について／四大学図書館相互利用館外個人貸出取扱要領について

■第15回■ 2014年7月7日(月)

AVホールロビー天井の雨漏りについて／試験期の盗難防止のための館内巡回について／夏季休暇中の本学受験生の図書館利用について／文化祭時のアクティブラーニングエリアの入試広報部の利用について／教育研究所への『全人教育』の特別貸出について／高等教育質保証学会開催時の図書館見学について／7月人事異動に伴う歓送迎会について／非常勤講師の図書購入先について／学内インターンシップについて／新聞の紛失について／大学院生からの要望について／第2回図書館委員会について

■第16回■ 2014年7月14日(月)

放送設備の改修について／学期末試験期の座席指定業務について／AED講習会の参加者について／漏電調査について／光熱費削減のための節電対策について／雑誌室の展示について／自己点検評価にともなうプロジェクトチームについて／図書館活用法の次年度準備について／AVホールのメールによる利用申し込みについて／夏季休暇中の本学受験を予定している高校生・受験生の図書館利用について

■第17回■ 2014年7月21日(月)

AVホールロビー天井の雨漏りについて／世田谷区民利用について／資料保存研修について／学内インターンシップの担当者について／国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスの利用に関する規定について／利用者の声について／システム委員会報告について／高等教育質保証学会開催時の図書館見学について／次年度予算について

■第18回■ 2014年9月22日(月)

消耗品の購入について／館内の漏電について／円安による予算への影響について／利用者の声について／各種研修会参加者について／図書館実習について／電子化された洋雑誌の取り扱いについて／コミュニティカレッジ秋冬講座受講生の春休み休講期間の利用について／ALエリアの利用状況について／防災訓練について／アマゾンの利用について／MNCからの要望について／学園図書館図書室連絡会について／五大学図書館懇談会について

■第19回■ 2014年9月29日(月)

CSからのデータのダウンロードについて/館内の漏電について/来年度世田谷区民の利用について/3号館雑誌室の雑誌の配架順について/各種研修会参加者について/図書館実習について/洋雑誌取次店の取引停止について/冷暖房の切り替えについて/選書ツアーの展示について/冬休み臨時開館について/地下3階洋書の多読コーナーへの配架希望について/予算について/文化祭時の図書館前ステージの利用について/国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスの本格稼働について/五大学図書館懇談会(甲南大学)について

■第20回■ 2014年10月6日(月)

台風による雨漏りについて/第3回図書館委員会について/漏電について/文化祭時の出勤について/図書館総合展について/選書ツアー参加者による懇談会について/貴重書室内の和装本のB3F・Cブロックへの配架について/科研費で雇用した臨時職員の図書館入館について/丸善ナレッジワーカーのデモについて/映画鑑賞会について/利用者教育検討WGの答申について/私図協の研究会(交流会)について/法人企画広報部からの展示の提案について

■第21回■ 2014年10月13日(月)

図書館年報原稿について/第3回図書館委員会の議題について/予算について/統一入試当日の閉館について/エブスコ主催のユーザー会について/臨時開館時のレファレンスについて/貸出・利用カードの再発行料について/多読コーナーへの資料移設について/春休み期間中の入学手続者の利用について/図書館ガイダンスWGについて/100周年記念募金者の図書館利用について/自己点検評価スケジュールについて/台風への対応について

■第22回■ 2014年10月20日(月)

スエッツの業務終了について/文化祭の担当について/学園図書館図書室連絡会について/学長ヒアリングについて/大学入学手続者の春休み図書館利用について/世田谷区民の利用状況について/冬休み臨時開館の利用者について/研究分科会の開催について/『あなたが「先生」にすすめたい本』の購入について/電子化された洋雑誌の取り扱いについて/新刊雑誌コーナーの配架時期について/多読コーナーへの資料移設について

■第23回■ 2014年10月27日(月)

平成27年度予算について/図書館ガイダンスWGのメンバーについて/トランシーバーのチェックについて/選書ツアー参加者との懇談会について/国立国会図書館デジタル送信について/利用者の声/入館受付簿の変更について/パブリックサービス研究分科会の開催日程の変更について

■第24回■ 2014年11月5日(水)

平成27年度予算について/データベース利用セミナー&就活対策セミナーについて/大学入試合格者の図書館利用について/利用者の声

■第25回■ 2014年11月10日(月)

平成27年度予算について/地下3階天井の工事について/空調関係の工事について/AVホー

ルの電源工事について／第3回図書館委員会について／世田谷区民の図書館利用について／図書館規則の改正について／豆本展示の新聞記事について／スエッツの債権について／100周年記念事業グッズについて／館内の回覧について

■第26回■ 2014年11月17日（月）

火災報知器操作パネルの修理について／AVホールの照明の電源工事について／図書館年報の校正について／卒論のための文献検索ガイダンスについて／SA報告について／平成27年度臨時予算の追加について／著者名リンクとPTBLリンクについて／再整理の一時中止について／基本カードの廃棄について／高校訪問のための貴重書の貸出について／図書館スタッフによる展示について／忘年会について

■第27回■ 2014年11月26日（水）

1階正門側の学習用PC席の照明について／AVホールロビーの雨漏りについて／客員研究員の研究個室の利用について／利用者の声について／デジタル化資料送信サービスについて／世田谷区民利用者へのアンケートについて／AV資料の紹介について／研修会参加者について／ガイダンス結果報告／大学ホームページの掲載方法について／図書館規則の改正について

■第28回■ 2014年12月1日（月）

東京都排水本管テレメーター工事について／2013年度年報について／共通図書費の執行状況について／卒論のための文献の探し方ガイダンスについて／国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスの印刷利用料金について／卒業アルバムの撮影について／ローライブラリアン研究会について／英語多読資料について／非常用ソーラーライトについて／私図協会研究部運営委員会委員について／予算ヒアリングについて

■第29回■ 2014年12月8日（月）

今後の予算について／2013年度年報について／国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスの印刷利用料金について／規則の改正について／科研費間接経費による資料の購入について／図書館委員からの要望について／継続的な研究個室の利用について／卒論のための文献の探し方ガイダンス参加状況について／入学試験の業務依頼について／年末年始の勤務について

■第30回■ 2014年12月15日（月）

コンセントの不具合について／屋上防水工事について／国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスの印刷利用料金について／トランシーバーのチェックについて／3号館雑誌室利用者数の増加について／館内配架雑誌の整理業務について／SAWG報告について／コミュニティカレッジ受講生の図書館利用について／利用者の声について／入学式前オリエンテーションについて／雑誌の前払い金について／多読授業の学部担当者の変更について／自己申告書について／カレンダーの配付について

■第31回■ 2015年1月9日（金）

「丸善書店」と「ジュンク堂書店」の合併について／図書館配架雑誌の3号館雑誌室への配架希望について／図書館委員会について／国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスの開始につ

いて／電子化された洋雑誌の取り扱いについて／修論閲覧許諾について／プレゼンテーションルームの開放について／春季休暇中のシフト勤務について／公認会計士による監査について／四大学相互利用について／試験期の館内巡回について／規則の改正について／自己点検評価報告書について

■第32回■ 2015年1月19日（月）

掲示板の設置について／図書館委員会について／図書館改修工事について／保守点検について／傘の持ち込みについて／広報委員会報告／合格者の春季休暇中の図書館利用について／学園図書館図書室連絡会について／四大学図書館相互利用について／CD付多読資料の冊子への対応について／公認会計士による監査について

■第33回■ 2015年1月26日（月）

雑誌の配架について／和装本の規程案と配架先について／AVゾーンの機器操作マニュアルについて／キャリア支援部のアクティブラーニングエリアの利用について／土曜日の平日振替授業日の開館時間について／学部卒業生・大学院修了者の貸出カード発行料について／私図協研修分科会について／図書館暦について／公認会計士による監査について／図書館規則の変更について／四大学図書館相互利用について／オール成城学園オープンキャンパスについて／100周年記念募金者の図書館の利用について／学園図書館図書室連絡会について／発注システムについて／経済研究所所蔵資料の遡及について

■第34回■ 2015年2月3日（火）

世田谷区民利用について／学部卒業生・大学院修了者の図書館利用について／SAWG報告／100周年未来募金者の図書館の利用について／新刊雑誌コーナーの配架雑誌の見直しについて／CD付多読資料の冊子への対応について／世田谷6大学コンソーシアム横断検索について／発注システムについて／入試期間中の参考図書蔵書点検について

■第35回■ 2015年2月9日（月）

蔵書点検について／2015年度の開館スケジュールについて／新刊雑誌コーナーの配架雑誌の見直しについて／夕刊の当日配架について／ガイドブックの配架場所について／コーポレートカードについて／スエッツの債権について／公認会計士による監査について／図書館システム更新の延期による保守について

■第36回■ 2015年2月23日（月）

粗大ゴミについて／図書館配架雑誌の配架変更について／掲示板の運用について／専任教職員紹介者の図書館利用者について／入館時の身分証明書提示について／図書館年報について／コーポレートカードについて／広報委員会報告及びガイダンスWG報告について／ナレッジワーカーについて／私図協東地区部会研究部運営委員会への出席について／第4回図書館委員会議題について／職員の退職について

■第37回■ 2015年3月2日（月）

防水工事について／和雑誌の保存期間について／利用者の声について／地下3階書庫入庫方法の

変更について／冬休み前の日曜臨時開館について／雑誌の貸倉庫預け入れについて／四大学・世田谷6大学相互利用者の貸出停止期間について／ホームページの進捗状況について／学内語学教室開設について／図書館活用法について

■第38回■ 2015年3月9日(月)

防水工事について／世田谷区民利用申請者について／年度末学園高校生の利用について／S A W G報告／広報委員会報告／学びの森受講生の図書館利用期間について／学園図書館図書室連絡会について／成城自治会対象の講演会について

■第39回■ 2015年3月16日(月)

組織変更に伴う印刷物の確認について／世田谷区民利用申請者について／客員研究員の研究個室の利用について／交換留学生の図書館ガイダンスの依頼について／分類記号の変更について／新年度の各種委員会メンバーについて

■第40回■ 2015年3月25日(水)

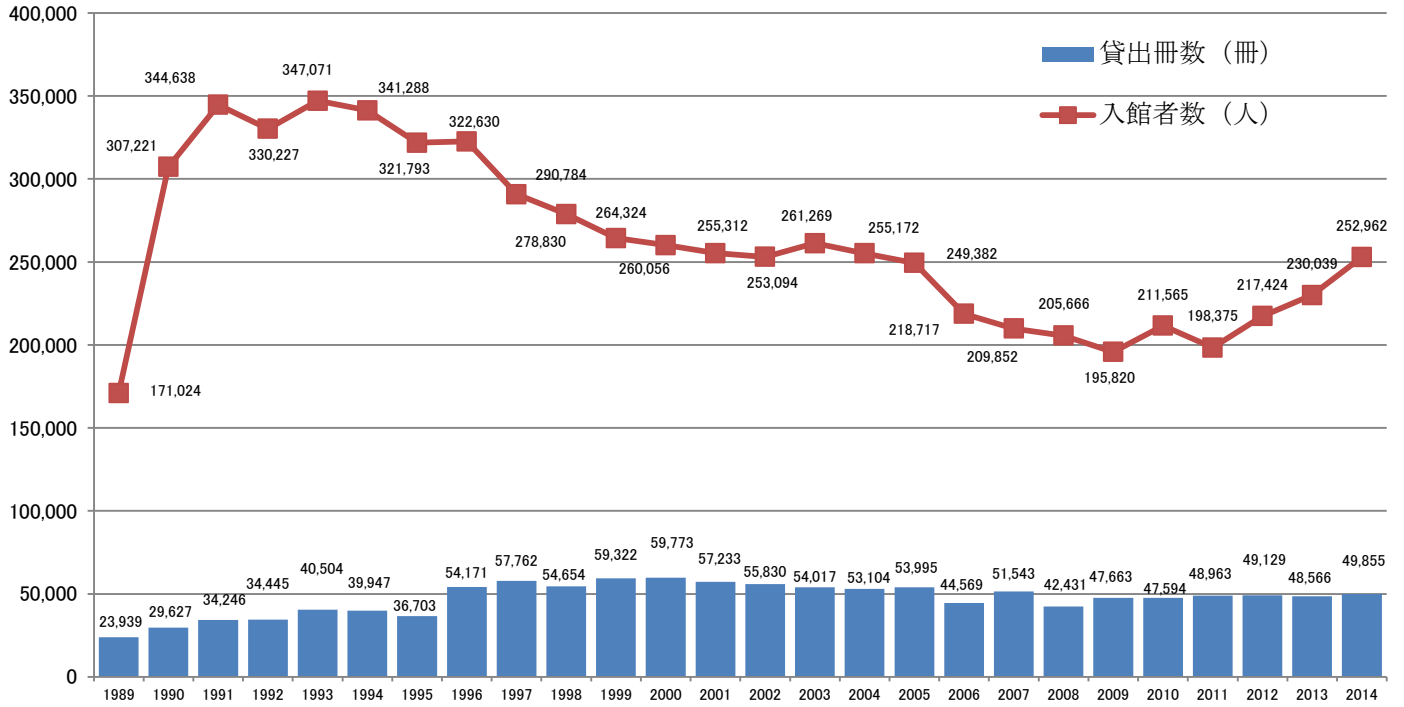
内線番号表について／新聞の保存期間について／映研のAVホールの利用について／1,000円札対応のコピー機について／春期休講期間・夏季休講期間の表記について／著作権セミナーについて／新年度各種委員会の名称変更について

Ⅲ 2014年度の図書館年次統計

1 現況

(1) 利用状況

入館者数と貸出冊数の推移



(2) 所蔵資料数

○図書 (和洋図書)	729,166冊	(2014年度増加数	12,034冊、除籍数	147冊)
○雑誌 (BN、合冊製本)	141,466冊	(2014年度増加数	2,411冊、除籍数	78冊)
○AV資料		(2014年度増加数		
CD	22,810枚	(2014年度増加数	231枚、除籍数	0枚)
LD	5,062枚	(2014年度増加数	0枚、除籍数	0枚)
ビデオ	6,768巻	(2014年度増加数	1巻、除籍数	278巻)
DVD/Blu-ray	14,107枚	(2014年度増加数	595枚、除籍数	10枚)
レコード	7,988枚	(2014年度増加数	0枚、除籍数	0枚)
カセット	1,534本	(2014年度増加数	0本、除籍数	918本)
○特殊資料		(2014年度増加数		
CD(DVD)-ROM	2,627枚	(2014年度増加数	56枚、除籍数	0枚)
マイクロ資料	29,110点	(2014年度増加数	167点、除籍数	0点)

(3) 電子情報資源種類数

(2014)

	和	洋	計
電子ジャーナル (タイトル数)	627	14,589	15,216
電子ブック (タイトル数)	108	203	311
データベース (パッケージ数)	19	17	36

(4) リポジトリ登録件数

(2014)

紀要論文	研究報告書	学位論文 (博士)	図書館年報	合計
3,301	69	4	2	3,376

(5) 雑誌所蔵種類数

(2014)

	和雑誌	洋雑誌	計
雑誌	3,529	2,390	5,919
大学紀要	2,881	42	2,923
新聞	4	5	9
計	6,414	2,437	8,851

(6) 継続受入雑誌種類数

(2014)

	和雑誌			洋雑誌			合計
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計	
雑誌	619	222	841	938	157	1,095	1,936
大学紀要	2	1,134	1,136	0	22	22	1,158
新聞	12	1	13	7	0	7	20
計	633	1,357	1,990	945	179	1,124	3,114

(7) AV・マイクロ累積タイトル数

(2014)

媒体	マイクロフィルム	カセットテープ	ビデオテープ	CD	LD	DVD	Blu-ray	レコード
前年度タイトル数	319	568	2,376	21,011				6,899
2014年度増加分	5	0	1	147	0	376	84	0
合計	324	568	2,377	21,618				6,899

映画フィルム	スライド	HDD	フラッシュメモリー	CD-ROM	DVD-ROM	フロッピー・磁気テープ	合計
119	66	8	0	571		24	31,961
0	0	0	0	6	2	0	621
119	66	8	0	579		24	32,582

*継続分を除く、新規タイトル数の累積点数。

*タイトル数については、集計開始時より媒体合算のものもあるため、加年度分の増加分合計点数についても、そのまま媒体合算集計とする。

2 受入報告

(1) 図書受入報告

(2014)

	和 書		洋 書		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
図書	1,416	20,183,314	1,919	42,601,907	3,335	62,785,221
資産外図書*1	1,907	14,335,238	533	7,161,320	2,440	21,496,558
学習図書	4,143	13,139,520	814	2,018,386	4,957	15,157,906
私大助成	0	0	37	9,612,000	37	9,612,000
間接科研費*2	-	-	-	-	-	-
寄贈	704	704,000	534	1,068,000	1,238	1,772,000
編入	25	45,020	2	16,518	27	61,538
合計	8,195	48,407,092	3,839	62,478,131	12,034	110,885,223

※1 資産外図書の冊数・金額には、電子ブックの購入分（和書108点、3,428,248円、洋書1点、11,837円）も含む。

※2 2014年度間接科研費は資産外図書へ追加配当（和書103点 3,373,342円）。

除籍報告

	和 書		洋 書		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
図書	19	36,327	46	409,333	65	445,660
資産外図書	19	-	15	-	34	-
学習図書	42	-	1	-	43	-
私大助成	0	0	0	0	0	0
寄贈	4	4,000	1	2,000	5	6,000
編入	0	-	0	-	0	-
合計	84	40,327	63	411,333	147	451,660

(2) 雑誌受入報告

(2014)

	和 雑 誌		洋 雑 誌		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
購入 バックナンバー	144	3,313,021	95	2,839,774	239	6,152,795
製本編入	1,129	2,074,308	1,043	1,914,948	2,172	3,989,256
私大助成	0	0	0	0	0	0
合計	1,273	5,387,329	1,138	4,754,722	2,411	10,142,051

購入[資産外]	-	20,248,425	-	84,849,318	-	105,097,743
その他の編入（発見）	0	-	0	-	0	-
その他の編入（移管）	0	-	0	-	0	-
その他の編入（弁償）	0	0	0	0	0	0
寄贈	0	-	0	-	0	-

除籍報告

	和 雑 誌		洋 雑 誌		小 計	
	冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
購入 バックナンバー	6	15,170	0	0	6	15,170
製本編入(H.4以降)	52	89,331	20	33,750	72	123,081
私大助成	0	0	0	0	0	0
小 計	58	104,501	20	33,750	78	138,251

製本編入(H.3以前)	27	-	0	-	27	-
その他の編入（発見）	0	-	0	-	0	-
その他の編入（移管）	0	-	0	-	0	-
その他の編入（弁償）	0	0	0	0	0	0
購入 [資産外]	0	0	0	0	0	0
寄贈	0	-	0	-	0	-

(3) マイクロ・AV資料 受入報告

1. 受入

(2014)

媒体		資産		資産外		学習図書		寄贈	編入	合計
		数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	数量	
マイクロリール		93	1,692,000	0	0	9	153,910	0	0	102
マイクロフィッシュ		2	516,000	0	0	0	0	0	0	2
マイクロリール	間接科研費	63	1,530,900	0	0	0	0	0	0	63
マイクロリール	私大助成	0	0							0
マイクロフィッシュ	私大助成	0	0							0
小計		158	3,738,900	0	0	9	153,910	0	0	167
CD-ROM	私大助成	0	0							0
DVD-ROM	私大助成	0	0							0
HDD	私大助成	0	0							0
CD		0	0	35	89,910	194	409,632	2	0	231
カセット		0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビデオ		0	0	0	0	0	0	1	0	1
LD		0	0	0	0	0	0	0	0	0
DVD		0	0	40	240,258	434	4,949,872	7	0	481
Blu-ray		0	0	0	0	114	897,277	0	0	114
レコード		0	0	0	0	0	0	0	0	0
フィルム		0	0	0	0	0	0	0	0	0
スライド		0	0	0	0	0	0	0	0	0
CD-ROM		0	0	48	3,060,336	0	0	6	0	54
DVD-ROM		0	0	2	292,980	0	0	0	0	2
小計		0	0	125	3,683,484	742	6,256,781	16	0	883
合計		158	3,738,900	125	3,683,484	751	6,410,691	16	0	1,050

2. 除籍

媒体	資産外		学習図書		寄贈		合計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
DVD	0	0	10	18,059	0	0	10	18,059
カセット	667	1,652,609	243	905,929	8	0	918	2,558,538
フィルム	81	3,161,800	0	0	3	0	84	3,161,800
ビデオ	277	2,929,327	0	0	1	0	278	2,929,327
合計	1,025	7,743,736	253	923,988	12	0	1,290	8,667,724

(4) 学習図書年度別受入一覧

(2014)

年度	和書（冊数）	洋書（冊数）	図書合計	雑誌（冊数）	AV資料（点数）	マイクロ資料 （リール・箱）
1983	4,222	40	4,262	23	6	0
1984	6,220	226	6,446	28	10	578
1985	6,814	129	6,943	44	190	882
1986	7,170	273	7,443	95	332	851
1987	6,499	857	7,356	48	333	792
1988	5,298	134	5,432	0	505	717
1989	4,839	219	5,058	0	607	992
1990	4,811	249	5,060	0	1,046	162
1991	5,003	289	5,292	0	1,418	217
1992	4,645	221	4,866	0	1,775	313
1993	4,971	233	5,204	0	1,318	508
1994	4,705	179	4,884	0	1,015	199
1995	4,473	149	4,622	0	1,277	130
1996	5,515	120	5,635	0	1,424	57
1997	5,247	204	5,451	0	1,237	64
1998	4,832	116	4,948	0	1,472	81
1999	4,953	192	5,145	0	1,613	70
2000	4,543	185	4,728	0	1,705	86
2001	4,387	153	4,540	0	1,882	140
2002	4,984	184	5,168	0	1,685	136
2003	4,623	248	4,871	0	2,017	72
2004	4,049	329	4,378	0	1,988	81
2005	3,843	649	4,492	0	2,469	91
2006	3,907	306	4,213	0	1,892	129
2007	4,497	152	4,649	0	1,159	347
2008	4,481	270	4,751	0	1,567	193
2009	4,982	223	5,205	0	1,648	131
2010	5,089	216	5,305	0	1,344	94
2011	5,183	158	5,341	0	1,136	72
2012	5,275	595	5,870	0	950	69
2013	4,300	1,229	5,529	0	747	74
2014	4,143	814	4,957	0	751	9
合計	158,503	9,541	168,044	238	38,518	8,337

毎年全学生から学習図書整備費として特別に徴収された資金により、学生の勉学に必要なと思われる資料を選定し購入している。この制度は、1983年度より実施されている。

3 整理業務統計

(1) 図書整理冊数

(2014)

	和書	洋書	小計
新規	7,471	3,893	11,364
再整理	3,487	286	3,773
遡及(内部)	0	50	50
遡及(外注)	0	0	0
合計	10,958	4,229	15,187

(2) 修士論文整理冊数

(2014)

	専攻	件数	冊数
経済学研究科	経済学/経営学	4	4
文学研究科	国文学	1	1
	英文学	3	3
	日本常民文化	7	7
	美学・美術史	6	7
	コミュニケーション学	1	1
	ヨーロッパ文化	1	1
法学研究科	法律学	2	2
社会イノベーション研究科	社会イノベーション学	1	1
合計		26	27

(3) 博士論文整理冊数

(2014)

	今年度		累計	
	件数	冊数	件数	冊数
経済学	0	0	5	5
文学	0	0	33	41
法学	0	0	8	8
合計	0	0	46	54

(4) AV・マイクロ点数

(2014)

	映像資料	録音資料	電子資料	マイクロ資料	合計
新規	607	121	115	145	988
遡及(内部)	368	782	641	0	1,791
合計	975	903	756	145	2,779

映像資料 : DVD, Blu-ray, LD, ビデオ, スライド, フィルム

録音資料 : CD, カセット, レコード

電子資料 : DVD-ROM, CD-ROM

マイクロ資料 : マイクロフィッシュ, マイクロフィルム

4 運用業務統計

(1) 入館者統計 (2014)

	開館日数	学 生	教 職 員	中 学 生	高 校 生	学 習 院		成 蹊		武 蔵		国 士 館		駒 澤		昭 和 女 子		東 京 農 業		東 京 都 市		学 外 者	合 計
						教 職 員	学 生	教 職 員	学 生	教 職 員	学 生	教 職 員	学 生	教 職 員	学 生	教 職 員	学 生	教 職 員	学 生	教 職 員	学 生		
4月	25	22,577	923	0	6	0	0	0	1	0	3	0	2	0	0	0	1	0	2	0	0	331	23,846
5月	24	24,537	1,074	0	113	0	0	2	0	2	0	1	3	0	3	0	3	3	0	0	0	498	26,239
6月	25	25,142	1,050	0	39	1	6	0	8	0	1	0	6	0	4	3	2	0	2	0	3	572	26,839
7月	29	43,489	1,114	0	0	0	5	0	5	0	2	0	3	2	1	0	0	0	2	0	2	423	45,048
8月	16	2,245	365	0	6	1	1	0	5	0	10	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	236	2,873
9月	24	11,352	629	0	4	0	5	1	7	0	7	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	303	12,313
10月	26	24,640	1,013	0	51	0	2	0	8	0	1	1	2	0	0	1	0	0	1	0	1	645	26,366
11月	23	24,612	811	3	38	0	5	1	2	0	5	0	3	0	7	0	1	1	0	0	0	490	25,979
12月	21	24,754	835	0	47	0	3	0	7	0	0	0	5	0	4	0	1	0	0	0	0	361	26,017
1月	23	29,847	628	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	224	30,709
2月	19	2,247	443	2	6	0	1	1	3	0	0	0	1	0	4	0	0	1	3	0	0	214	2,926
3月	24	2,968	515	0	2	0	4	1	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	312	3,807
合計	279	238,410	9,400	5	312	2	36	4	52	0	32	4	26	2	25	5	11	5	16	0	6	4,609	252,962

(2) 月別図書貸出統計

※集計単位は冊数

(2014)

図書館配架区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3 F	1,161	1,510	1,649	2,427	590	1,342	2,144	2,144	2,402	1,975	421	272	18,037
3 F 大型本	6	4	5	7	1	4	4	7	8	5	0	1	52
3 F ガイドブック	61	107	96	109	26	51	79	69	46	67	34	14	759
2 F	1,603	2,081	2,042	3,258	687	1,589	2,536	2,691	2,766	2,401	447	260	22,361
岩波文庫(2 F)	109	123	113	115	37	84	122	120	134	106	42	23	1,128
岩波新書(2 F)	29	36	51	59	21	39	65	57	70	44	14	11	496
文庫クセジュ(2 F)	8	10	6	25	0	4	4	13	15	20	3	0	108
2 F 大型本	9	15	12	29	6	16	27	22	14	17	2	1	170
B 2 F	16	44	43	43	17	32	65	45	48	41	11	15	420
B 2 F 英語多読コーナー	74	61	335	115	9	29	107	199	143	49	22	9	1,152
貴重書室	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	2	0	8
B 3 F	269	496	508	549	186	366	519	512	476	444	259	174	4,758
B 3 F 大型本	5	5	9	11	3	8	3	14	10	10	5	1	84
旧館6層	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
旧館5層	2	1	2	2	2	5	5	5	7	1	5	1	38
旧館3層	2	1	5	5	0	4	4	9	5	2	2	0	39
旧館1層	9	22	12	15	7	29	18	15	22	21	15	5	190
貸倉庫	1	4	8	4	0	9	10	11	4	0	0	0	51
合計	3,365	4,521	4,897	6,779	1,592	3,611	5,712	5,933	6,170	5,204	1,284	787	49,855

(3) 分野別図書貸出統計

※集計単位は冊数

(2014)

	図書資料分野区分											計
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学/工業	産業	芸術	語学	文学	その他	
学生	759	2,561	3,660	12,246	995	1,019	1,506	4,769	2,542	6,005	0	36,062
大学院生	122	420	443	1,144	131	74	132	793	70	667	0	3,996
非正規生	24	85	147	175	84	27	17	83	72	94	0	808
大学専任教員	154	188	350	1,484	175	118	135	156	459	409	0	3,628
大学非常勤教員	60	230	181	350	109	33	14	231	186	396	0	1,790
その他教職員	150	194	459	827	68	57	85	242	219	588	0	2,889
四大学	0	0	0	2	0	0	2	1	0	0	0	5
成蹊大学	0	1	1	7	0	1	0	6	0	0	0	16
武蔵大学	1	0	0	12	0	0	1	0	0	2	0	16
6大学	0	0	0	8	0	1	2	0	0	0	0	11
駒澤大学	0	1	0	22	0	1	0	0	0	2	0	26
昭和女子大学	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	5
東京農業大学	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
東京都市大学	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
卒業生	4	13	5	34	0	2	6	3	8	19	0	94
大学院修了者	3	1	12	22	2	1	0	33	2	17	0	93
その他	14	10	78	42	10	3	0	39	57	57	0	310
コミュニティカレッジ	0	4	1	82	2	0	0	0	1	2	0	92
世田谷区民	0	0	2	0	2	0	0	1	0	3	0	8
学園中学・高校生	1,291	3,710	5,339	16,463	1,578	1,337	1,900	6,357	3,619	8,261	0	49,855
小計	2.6%	7.4%	10.7%	33.0%	3.2%	2.7%	3.8%	12.8%	7.3%	16.6%	0.0%	100.0%
比率												

(4) ベストリーダー 年間貸出回数 上位30位まで

順位	書名	著者名	出版社	貸出回数
1	ゾミア：脱国家の世界史	ジェームズ・C・スコット [著]；池田一人 [ほか] 共訳	みずす書房	34
1	スタンダード佛和辞典	鈴木信太郎 [ほか] 編	大修館	34
3	分析美学入門	ロバート・ステッカー著；森功次訳	勁草書房	33
4	オトラント城 / 崇高と美の起源	ホレス・ウォルポール著；千葉康樹訳 / エドマンド・バーク著；大河内昌訳	研究社	29
5	暮らしの革命：戦後農村の生活改善事業と新生活運動	田中宣一編著；富田祥之亮 [ほか] 著	農山漁村文化協会	25
5	日本の歳時伝承	小川直之著	アーツアンドクラフツ	25
5	現代独和辞典	ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実編	三修社	25
5	美学辞典	佐々木健一著	東京大学出版会	25
9	新国際法講義 -- 改訂版	森川俊孝, 佐藤文夫編著	北樹出版	24
10	民事訴訟法 -- 第4版	伊藤眞著	有斐閣	20
10	新修民事訴訟法体系 -- 増訂版	兼子一著	酒井書店	20
10	先物・オプション取引入門	ジョン・C・ハル著；小林孝雄監訳	ピアソン・エデュケーション	20
13	重点講義民事訴訟法 上 -- 第2版補訂版	高橋宏志著	有斐閣	19
13	新スタンダード仏和辞典	鈴木信太郎 [ほか] 著	大修館書店	19
13	日本書紀：全現代語訳 下	宇治谷孟 [訳]	講談社	19
13	刑法総論 -- 第3版	伊藤眞著	弘文堂	19
17	チョコレートの歴史物語	サラ・モス, アレクサンダー・バデノック著；堤理華訳	原書房	18
17	英和辞典	川本茂雄編集主幹	講談社	18
17	倒産法	伊藤塾著	弘文堂	18
20	新国際法講義	森川俊孝, 佐藤文夫編著	北樹出版	17
20	Traditional Japanese poetry : an anthology	translated, with an introduction, by Steven D. Carter	Stanford University Press	17
20	『ガリヴァー旅行記』徹底注釈 注釈篇	スウィフト [著]；富山太佳夫訳	岩波書店	17
23	あじわいの構造：感性化時代の美学	津上英輔著	春秋社	16
23	シェイクスピアとエンブレム：人文主義の文化的基層	松田美作子著	慶應義塾大学出版会	16
23	そして父になる	是枝裕和, 佐野晶著	宝島社	16
23	エッセンシャルIFRS -- 第3版	秋葉賢一著	中央経済社	16
23	ODAフロンティア	白鳥正喜著	大蔵省印刷局	16
23	日本美術館		小学館	16
23	日本書紀 2	小島憲之 [ほか] 校注・訳	小学館	16
23	開発援助の経済学：「共生の世界」と日本のODA -- 第3版	西垣昭, 下村恭民, 辻一人著	有斐閣	16
23	フランス近代美術史の現在：ニュー・アート・ヒストリー以後の視座から	永井隆則編	三元社	16
23	オプティミストはなぜ成功するか	M.セリグマン [著]；山村直子訳	講談社	16

(2014)

(5) 閉架書庫内図書月別利用統計

(2014)

	学生 (含院生)		専任教員		非常勤教員		大学職員		その他		合計	
	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数
4月	30	52	0	0	2	3	1	2	4	8	37	65
5月	76	124	0	0	1	2	3	6	7	14	87	146
6月	61	102	1	1	2	6	2	3	4	6	70	118
7月	78	131	1	2	4	6	5	9	7	21	95	169
8月	15	25	0	0	0	0	1	1	6	40	22	66
9月	49	84	0	0	4	4	1	1	14	26	68	115
10月	88	135	0	0	3	6	0	0	14	39	105	180
11月	120	175	1	1	5	12	1	1	14	51	141	240
12月	112	165	0	0	2	7	0	0	13	46	127	218
1月	45	67	0	0	1	9	0	0	11	31	57	107
2月	7	12	1	1	1	1	0	0	16	65	25	79
3月	7	8	0	0	1	1	0	0	5	8	13	17
合計	688	1,080	4	5	26	57	14	23	115	355	847	1,520

* 閉架書庫とはB3F書庫、旧館書庫である。

* 専任教員、非常勤教員、大学院生はB3F書庫への入庫利用が可能。

(6) 閉架書庫内雑誌月別利用統計

(2014)

	学生 (含院生)		専任教員		非常勤教員		大学職員		その他		合計	
	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数	人数	総数
4月	14	15	0	0	7	7	0	0	6	9	27	31
5月	21	24	5	5	3	3	0	0	3	4	32	36
6月	27	27	1	1	4	4	0	0	2	2	34	34
7月	25	25	1	2	2	2	0	0	20	26	48	55
8月	3	3	1	2	0	0	0	0	5	24	9	29
9月	18	39	3	5	3	4	1	1	5	5	30	54
10月	50	51	4	5	0	0	0	0	2	2	56	58
11月	62	140	1	1	6	7	0	0	8	13	77	161
12月	32	37	3	4	2	2	0	0	0	0	37	43
1月	15	15	0	0	0	0	0	0	1	5	16	20
2月	2	2	1	1	2	2	1	1	3	3	9	9
3月	2	2	0	0	2	2	0	0	3	5	7	9
合計	271	380	20	26	31	33	2	2	58	98	382	539

* 人数=雑誌閲覧請求者数、総数=雑誌閲覧請求冊数。

* 閉架書庫とはB3F書庫、旧館書庫である。

* 専任教員、非常勤教員、大学院生はB3F書庫への入庫利用が可能。

(7) 貸倉庫預入資料利用統計

(2014)

資料種別		2014年度 預入箱数	2014年度 戻入箱数	2014年度末 総預入箱数	2014年度 利用請求冊数
図書	和書	0箱	1箱	2,746箱	404冊
	洋書	984箱	5箱	5,270箱	368冊
雑誌	Times(*)	0冊	0冊	578冊	0冊
	その他	214箱	1箱	421箱	38冊
AV資料		0箱	0箱	301箱	51冊
学園関係資料		0箱	0箱	90箱	0冊
合計		1,198箱	7箱	9,406箱	861冊

(*)はTimes(オリジナルの大型本)で預入単位は冊数、その他は箱単位である。
貸倉庫への預入開始は1996年度からである。

(8) 貸倉庫資料利用請求冊数内訳

(2014)

	短大資料	短大以外資料
和書	91冊	313冊
洋書	18冊	350冊
雑誌	0冊	38冊
AV	0冊	51冊
学園	0冊	0冊
合計	109冊	752冊

(9) 研究室別貸出図書統計

研究室名		2014年度末 貸出冊数		
		和書	洋書	計
大学院	法 学	7	0	7
	国 文	3,945	5	3,950
	英 文	10	607	617
	日本常民文化	1,561	308	1,869
	美学美術史	424	605	1,029
	コミュニケーション	77	2,861	2,938
	ヨーロッパ文化	16	559	575
	社会イノベーション	0	0	0
	計	6,040	4,945	10,985
資料室等	経済共用研究室	1,663	806	2,469
	文芸共用研究室	14,254	4,119	18,373
	文芸学部資料室	498	10	508
	法学資料室	5,543	16,334	21,877
	法学部専任教員室	16	4	20
	社イノ研究事務室	62	86	148
	体 育 科	225	13	238
	共通教育研究センター	582	10	592
	計	22,843	21,382	44,225
研究所	民俗学研究所	19	0	19
	経済研究所	0	6,727	6,727
	教育研究所	740	686	1,426
	計	759	7,413	8,172
総 計		29,642	33,740	63,382

2010年度より、E-Catsの配架先から算出

(10) 研究室別貸出雑誌統計

研究室名		2014年度末 カレント雑誌貸出冊数				2014年度末 製本雑誌貸出冊数			
		和雑誌	洋雑誌	大学紀要	計	和雑誌	洋雑誌	大学紀要	計
大学院	法 学	2,409	0	0	2,409	1	0	0	1
	国 文	8	0	0	8	0	0	0	0
	英 文	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本常民文化	20	371	0	391	0	0	0	0
	美学美術史	0	17	0	17	0	0	0	0
	コミュニケーション	0	2	0	2	0	0	0	0
	ヨーロッパ文化	25	106	37	168	0	14	0	14
	社会イノベーション	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,462	496	37	2,995	1	14	0	15
資料室等	経済共用研究室	0	0	0	0	0	0	0	0
	文芸共用研究室	0	0	0	0	0	0	0	0
	文芸学部資料室	11	0	0	11	0	0	0	0
	法学資料室	8,774	22,051	3,993	34,818	6,865	5,441	6,017	18,323
	法学部専任教員室	38	18	0	56	0	0	0	0
	社イノ研究事務室	5	0	0	5	0	0	0	0
	体 育 科	592	38	378	1,008	1	0	7	8
	共通教育研究センター	3	0	0	3	0	0	0	0
	計	9,423	22,107	4,371	35,901	6,866	5,441	6,024	18,331
研究所	民俗学研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
	経済研究所	0	49	0	49	0	0	0	0
	教育研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	49	0	49	0	0	0	0
総 計		11,885	22,652	4,408	38,945	6,867	5,455	6,024	18,346

2010年度より、E-Catsの配架先から算出

(11) 施設利用統計

(2014)

	研究個室			グループ学習室	プレゼンテーションルーム
	利用件数	継続人数	継続日数	利用件数	利用件数
4月	133	13	86	31	9
5月	186	19	96	38	10
6月	181	16	107	63	17
7月	193	18	117	163	14
8月	39	6	31	10	3
9月	82	10	67	24	5
10月	146	17	119	82	13
11月	136	16	101	97	14
12月	140	18	126	89	19
1月	99	11	167	102	11
2月	34	7	37	4	3
3月	23	4	28	17	12
合計	1,392	155	1,082	720	130

1. 研究個室は2Fに12室、3Fに10室ある。利用対象は大学院生と教職員。

継続人数・日数の数値は、継続利用できる6室の統計。

2. グループ学習室はB1Fに4室あるうち、利用申し込みが必要な3室の統計。

3. プレゼンテーションルームは2F、3Fにそれぞれ1室ある。

(12) 貴重書室利用統計

(2014)

利用件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
		1	4	6	4	0	1	1	3	1	0	0	0

(13) 3号館雑誌室・書庫利用統計

(2014)

	開室日数	入室者数	日平均入室者数	出納件数
4月	26	657	26	4
5月	24	786	33	11
6月	25	1,054	42	9
7月	27	2,020	75	6
8月	6	53	9	0 ※1
9月	18	476	26	7
10月	26	1,208	46	20
11月	23	1,736	75	12
12月	20	2,269	113	16 ※2
1月	20	1,702	85	3
2月	19	297	16	5
3月	24	355	15	3
合計 (平均)	258	12,613	47	96

※小数点以下を四捨五入

(※1) 8/ 11 ～ 8/ 15 : 夏季一斉休暇

(※2) 12/24 ～ 1/ 6 : 冬期休暇

(14) 日曜・祝日図書館臨時開館入館者統計

2015年 1月 6日(火)	191	9:00~17:00
1月17日(土)	322	9:00~17:00
1月18日(日)	253	9:00~17:00

* 2008年1月から試験対策として試験期間前または試験期間中の日曜・祝日等を対象に臨時開館を開始した。

* 2009年度から関係部局の了解のもとでセンター試験当日の臨時開館を開始した。

5 参考業務統計

図書館間相互協力

単位=件数

サービス種別		文書による調査		文献複写		閲覧願	
		2013年度	2014年度	2013年度	2014年度	2013年度	2014年度
受付	他大学から	52	45	565	681	33	33
	大学以外から	12	6	49	36	8	6
	国外から	0	0	13	11	0	0
	受付小計	64	51	627	728	41	39
依頼	他大学へ	64	71	311	298	42	43
	大学以外へ	6	1	43	71	1	0
	国外へ	0	0	15	13	0	0
	依頼小計	70	72	369	382	43	43
合計	受付+依頼	134	123	996	1,110	84	82

サービス種別		資料貸借	
		2013年度	2014年度
受付 (貸出)	他大学から	128	150
	大学以外から	8	28
	国外から	1	1
	受付 (貸出) 小計	137	179
依頼 (借受)	他大学へ	182	158
	大学以外へ	15	13
	国外へ	2	5
	依頼 (借受) 小計	199	176
合計	受付+依頼	336	355

6 AV資料等運用業務統計

(1) AVマイクロ資料利用統計

(2014)

開室日数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	
		22	24	25	27	16	24	26	23	20	20	19	24	270日	
ビジュアル資料 (NDC分類)	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4件	
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
	2	0	1	2	1	0	0	1	1	3	11	0	0	20件	
	3	0	14	1	0	1	1	8	4	5	1	0	0	35件	
	4	0	0	1	0	0	3	0	1	1	0	0	0	6件	
	5	0	1	1	0	0	1	1	0	2	0	0	0	6件	
	6	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2件	
	7	映画	641	696	737	620	87	324	696	592	620	385	78	135	5,611件
		その他	249	251	238	202	42	115	247	193	144	75	15	18	1,789件
	8		0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3件
9		0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4件	
	持ち込み	41	78	52	53	5	9	16	13	11	15	2	1	296件	
	付属資料	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1件	
	小計	931	1,045	1,037	876	135	454	972	804	787	487	95	154	7,777件	
オーディオ資料	古典音楽	3	5	9	4	1	2	5	12	6	5	0	0	52件	
	軽音楽	7	1	9	13	0	10	6	6	1	2	0	0	55件	
	語学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
	文芸	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1件	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
	持ち込み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
	付属資料	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1件	
	小計	10	7	18	17	1	12	11	19	7	7	0	0	109件	
ROM	CD/DVD-ROM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
	付属資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	
マイクロ	新聞	2	9	0	0	0	9	3	7	5	0	6	6	47件	
	その他	0	6	1	8	2	0	2	0	8	1	1	5	34件	
	持ち込み	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4件	
	小計	4	15	1	8	4	9	5	7	13	1	7	11	85件	
資料総計		945	1,067	1,056	901	140	475	988	830	807	495	102	165	7,971件	
AVルーム利用数		4	6	5	4	0	2	6	9	5	1	0	0	42件	

開架CDのオーディオソフターでの利用を除く

(2) AVホール利用統計

(2014)

利用件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
	8	8	10	13	0	0	15	10	11	1	2	4	82件

新入生ガイダンスでの利用を除く

(3) AVゾーン利用者別統計

(2014)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	
利用者	学生	1,247	1,250	1,282	1,087	124	483	1,141	983	890	553	84	91	9,215人
	大学教員	11	11	10	8	0	2	7	9	4	1	1	0	64人
	学園教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
	全学職員	2	1	0	0	0	4	2	1	5	1	0	0	16人
	その他	1	8	8	12	12	21	18	16	18	8	11	12	145人
合計	1,261	1,270	1,300	1,107	136	510	1,168	1,009	917	563	96	103	9,440人	

(4) マイクロ資料利用者別統計

(2014)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
学生	0	0	0	0	0	2	3	4	2	0	2	0	13人
大学教員	1	1	0	2	2	0	0	0	1	1	1	2	11人
学園教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
全学職員	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4人
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3人
合計	3	3	1	2	2	2	3	4	3	1	3	4	31人

(5) 保守点検等

- ・AVホール保守点検(2015年2月5日)
- ・AVホール保守点検(2015年2月6日)

7 図書館機械化の経緯と現状

(1) 経緯

1. 1994. 9. 1 CALIS 基本システム 導入
2. 1995. 12. 1 OPAC 用端末 3 台 開放
3. 1995. 1. 1 洋書閲覧用カード 凍結
4. 1995. 7. 30 データ遡及入力の外注開始
5. 1995. 9. 26 学内 LAN 設置 (インターネット接続)
6. 1995. 10. 30 学術情報センターCAT 接続完了
7. 1995. 11. 1 学術情報センター接続システム 導入
8. 1996. 1. 1 和書閲覧用カード 凍結
9. 1996. 1. 30 ネットワーク用 OPAC 導入
10. 1996. 2. 23 学術情報センターへの所蔵登録 開始
11. 1996. 3. 1 ネットワーク用 OPAC 開放
12. 1996. 4. 1 閲覧システム 稼働
13. 1996. 4. 16 学術情報センターILL システム 参加
14. 1996. 7. 1 新着図書案内 開始
15. 1997. 7. 1 雑誌管理システム 一部開始
16. 1998. 4. 1 蔵書点検システム 開始
17. 1998. 4. 1 図書管理システム 導入
18. 1999. 10. 14
-15 新業務サーバー データコンバートテスト
19. 1999. 11. 1 新業務サーバー 稼働
20. 2000. 1. 1 WebOPAC 稼働
21. 2000. 3. 27 図書館ホームページ 開設
22. 2000. 4. 5 WebOPAC 用 PC 端末 3 台 設置
23. 2000. 6. 22 図書館ネットワーク用代理サーバー 移設
24. 2001. 11. 1 WebOPAC 用 PC 端末 3 台 設置
25. 2002. 6. 1 WebOPAC 用 PC 端末 5 台 設置
26. 2002. 11. 5 情報コンセント 30 口 設置
27. 2003. 6. 24 WebOPAC 用 PC 端末 2 台 設置
28. 2004. 3. 25 情報コンセント 4 口・無線 LAN AP 設置
29. 2004. 8. 16 新業務サーバー 稼働
CATP-CASE3 システム 稼働
WebOPAC 用 PC 端末 5 台 設置
VTSS 接続 廃止
LAT 廃止
30. 2004. 10. 28 CD/DVD-ROM サーバー サービス開始
31. 2005. 1. 8 利用状況照会サービス 開始
32. 2005. 12. 21 CD-ROM 検索端末 2 台 置き換え
33. 2006. 1. 10 WebOPAC 用 PC 端末 3 台 置き換え
34. 2006. 7. 11 WebOPAC 用 PC 端末 2 台 置き換え
35. 2006. 8. 17 図書館 LAN の独立
36. 2006. 9. 20 CASE3 AV システム 開始

- 37. 2007. 4. 1 WebOPAC AV システム対応 サービス開始
- 38. 2007. 6.11 情報アクセス端末 10 台 設置
- 39. 2007. 9.25 3号館雑誌室・書庫 開室
- 40. 2008. 6. 5 情報アクセス端末 10 台 増設
- 41. 2009. 4. 1 AV 用 OPAC→WebOPAC 用端末 5 台 置き換え
- 42. 2010. 8.16 図書館システムを NEC E-Cats Library に変更
WebOPAC 用 PC 端末 12 台 置き換え
自動貸出装置 1 台 設置
- 43. 2010. 9.24 MNC 管轄の学習用 PC 15 台 設置
MNC 管轄のオンデマンドプリンター 1 台 設置
- 44. 2012. 8.16 次世代 OPAC 稼働
- 45. 2012. 8.31 WebOPAC 用 PC 端末 5 台 廃止
- 46. 2012.10.19 成城大学リポジトリ 公開
- 47. 2013. 3.18 情報アクセス端末 20 台 廃止
- 48. 2013. 3.25 MNC 管轄の学習用 PC 35 台 設置 (+15 台 置き換え)
- 49. 2013. 9.14 NewspaperDirect 専用モニター 稼働
- 50. 2013. 9.21 自動 PC 貸出ロッカー 稼働 (MNC 管轄の学習用 PC 20 台)
- 51. 2013. 9.21 NEC ブレインボード (タッチパネル内蔵モニター) 4 台 稼働

(2) 現状

1. 入力蔵書データ数 (2015 年 3 月 31 日現在)

和書	482,003 冊	洋書	310,007 冊	計	792,010 冊
和雑誌	184,298 冊	洋雑誌	86,704 冊	計	271,002 冊
和AV	32,488 点	洋AV	39,246 点	計	71,734 点

2. 図書館システムサーバー構成

E-CatsLibrary : DB サーバー/OPAC サーバー/評価環境サーバー
 CD/DVD-ROM サーバー
 PROXY サーバー

3. 接続端末等

- a. 利用者用端末数 OPAC 用 17, CD-ROM 用 4, CD-ROM 用プリンター 1
NewspaperDirect 用 1, サイネージ用 1
- b. 業務用端末数 スタッフ用 39, カウンター用 7
作業用 3 (研究室貸出・4F・B3F), ノート 7
- c. その他 プリンター 8, 複合機 2, 無線 LAN AP 4
- d. MNC 管轄 学習用 PC 70, オンデマンドプリンター 1, 情報コンセント 34
- e. 3号館雑誌室・書庫
業務用 PC 4, 利用者用 PC 3, 複合機 2, プリンター 1
MNC 管轄 学習用 PC 8, オンデマンドプリンター 1

8 図書館施設概要

図書館

竣工	1989年8月	
構造	鉄筋コンクリート造	地上5階 地下3階 塔屋1階
建築面積	1,088.16㎡	
延床面積	6,525.79㎡	
塔屋	5.17㎡	
5 F	140.00㎡	機械室
4 F	648.36㎡	事務室 館長室 会議室 ワークルーム スタッフルーム
3 F	877.38㎡	開架閲覧室 プレゼンテーションルーム2 研究個室 閲覧室 コピー室 休憩室
2 F	903.81㎡	開架閲覧室 プレゼンテーションルーム1 研究個室 閲覧室 コピー室 休憩室
1 F	986.95㎡	メインカウンター レファレンスカウンター コピー室 参考図書コーナー 新刊雑誌コーナー 新聞コーナー 目録コーナー 検索端末コーナー ワークルーム アクティブラーニングエリア
B1F	799.84㎡	開架閲覧室 グループ学習室 製本準備室 コピーコーナー AVマイクロ保存室
B2F	1,067.98㎡	開架閲覧室 貴重書室 AVマイクロ資料室 AVカウンター AVゾーン AVルーム AVホール
B3F	1,096.30㎡	保存書庫 機械室 電気室
収蔵能力合計	672,000冊	(開架 286,000冊 閉架 386,000冊) 2001、2002年度に開架各6,000冊分を増設
閲覧座席数	606席	2001、2002年度に各10席分を増設、 2013年度に82席分を増設
AVホール	90席	

大学4号館（旧図書館）

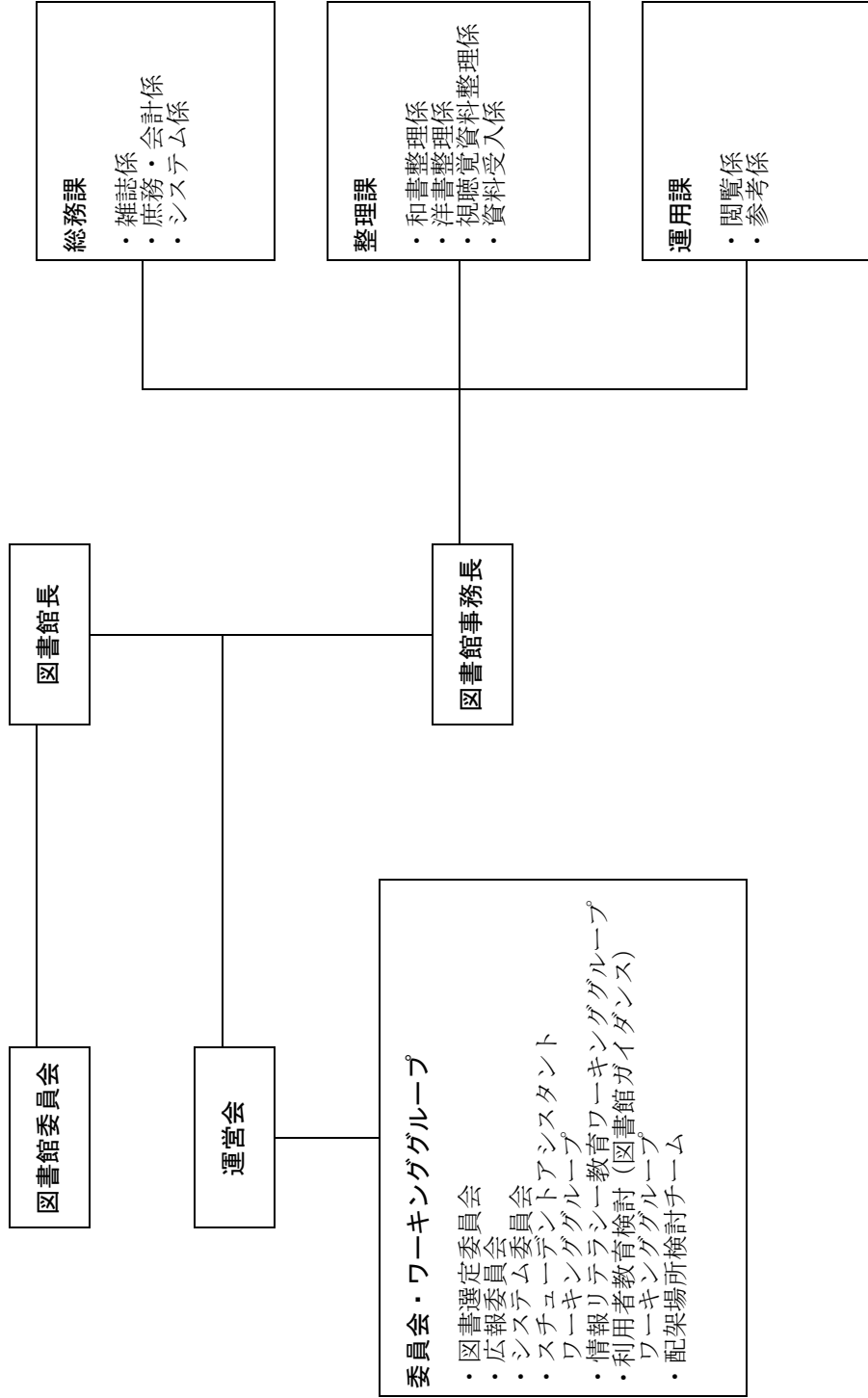
竣工	1968年8月			
構造	鉄筋コンクリート造	地上4階 積層書庫6層		
	1989年11月より学内他部局と共用			
図書館使用部分	書庫6層	79.38㎡	書庫5層	79.38㎡
	書庫3層	158.76㎡	書庫1層	158.76㎡
	1階荷解室	38.88㎡	1階保管室	48.60㎡
	書庫部分の収蔵能力合計 120,000冊			

3号館雑誌室および書庫

竣工	2007年9月	
構造	鉄筋コンクリート造	地上8階 地下1階
図書館使用部分	雑誌室（3階）	191.24㎡
	書庫（地下1階）	325.66㎡（2層分計）
		(2014.4.1)

IV 組織

1 組織図



(2014. 4. 1)

歴代図書館長

1	中野 三郎 (成城大学)	1953年4月	～	1955年3月
2	池田 勉 (文芸学部)	1955年4月	～	1965年3月
3	岡田 俊平 (経済学部)	1965年4月	～	1971年3月
4	宮崎 孝一 (文芸学部)	1971年4月	～	1975年3月
5	上野 格 (経済学部)	1975年4月	～	1979年3月
6	石川 弘義 (文芸学部)	1979年4月	～	1983年3月
7	安田 一郎 (法学部)	1983年4月	～	1987年3月
8	横川 新 (法学部)	1987年4月	～	1991年3月
9	木綿 良行 (経済学部)	1991年4月	～	1995年3月
10	毛利 三彌 (文芸学部)	1995年4月	～	1997年3月
11	木村周市朗 (経済学部)	1997年4月	～	2001年3月
12	新山 一雄 (法学部)	2001年4月	～	2005年3月
13	浅井 良夫 (経済学部)	2005年4月	～	2009年3月
14	福光 寛 (経済学部)	2009年4月	～	2011年3月
15	木畑 洋一 (法学部)	2011年4月	～	2015年3月

略史

1926年	4月	成城高等学校 創設
1927年	4月	成城高等女学校 創設
1928年	12月	「澤柳記念図書館」 竣工
1950年	4月	成城大学経済学部 成城大学理学部 開設
1952年	3月	成城大学理学部 廃止
1953年	11月	「成城学園中央図書館」と改称
1954年	4月	成城大学文芸学部 成城大学短期大学部 開設
1957年	4月	旧図書館 (旧柳田文庫) 増改築 「成城大学図書館」と改称
1968年	8月	旧図書館 (大学4号館) 竣工
	9月	開館
1977年	4月	成城大学法学部 開設
1989年	8月	新図書館 竣工
	11月	開館
2005年	4月	社会イノベーション学部 開設
2007年	9月	3号館雑誌室および書庫 開設
2013年	8月	アクティブラーニングのための施設改修

成城大学図書館年報 第16号

2014年度図書館業務報告

2016年3月31日発行

編集・発行 成城大学図書館

〒157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20

電話 03-3482-3555 (ダイヤルイン)

URL <http://www.seijo-lib.jp/>